

建築改修工事特記仕様書		章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																		
【1】工 事 概 要 1. 工 事 場 所 京都府船井郡京丹波町須知色紙田1番地1 2. 敷 地 面 積 4681.11 m <sup>2</sup> 3. 建築物概要 <table border="1"> <tr><th>棟 名</th><th>構 造</th><th>階 数</th><th>建築面積 (m<sup>2</sup>)</th><th>延べ面積 (m<sup>2</sup>)</th><th>備 考</th></tr> <tr><td>ふれあいホール</td><td>鉄骨造</td><td>1</td><td>469.18</td><td>469.18</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 4. そ の 他      【2】適用範囲 現場説明書(質疑回答書を含む)、本特記仕様書、図面、標準仕様書に示す範囲とする。 すべての設計図書は相互に補完するものとし、相違がある場合は、上記の順番を優先順位とする。 上記の標準仕様書とは、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書、公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(最新版)をいう。(以下、これを「改修標仕」という。) 本書に特に記載のない事項であっても、すべて、「改修標仕」の適用を受けるものとする。  【3】工 事 区 分 設計図書による。 別契約の施工上密接に関連する工事との取合い部分が発生する場合は、別紙工事区分表による。  【4】工 事 仕 様 1.設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「改修標仕」のほか別記の適用基準による。 2.項目は、番号に印の付いたものを適用する。 3.特記事項は、印の付いたものを適用する。印の付かない場合は、印の付いたものを適用する。 印と印の付いた場合は、共に適用する。印が抹消された場合は、印のみ適用する。 4.項目及び特記事項に記載の( )内表示番号は「改修標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。 特記仕様については「公共建築工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。	棟 名	構 造	階 数	建築面積 (m <sup>2</sup> )	延べ面積 (m <sup>2</sup> )	備 考	ふれあいホール	鉄骨造	1	469.18	469.18																				1 一般共通事項 特別な材料の工法 設計図書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。  風圧力及び積雪に対する性能 建築基準法に基づき定められた風速及び地面粗度区分等 風速 (Vo) 3.2 (平成12年5月31日建設省告示第1454号) 地面粗度区分 多雪地域の指定 なし あり  現場代理人 本工事の施工にあたっては、請負契約書第10条に基づく現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任しなければならない。  工事工程報告 月報は毎月末日に、翌月5日までに提出する。 日報は監督職員の指示による。 週報は毎週(月)曜日提出する。  工事実績情報の登録 (1.1.4) 適用する(適用事項は、現場説明書による) 適用しない  設備工事との取合い 施工範囲 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 駆動装置が電動による建具類の二次配線及び操作スイッチ 自動閉鎖装置取付け箇所切込み及び補強 施工図 設備機器の位置、取合等の検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。  施工図等の取扱い (1.2.3) 施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲される。  工事写真 (1.2.4) 工事写真の撮り方(改訂3版)建築編(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)による ほかは監督職員の指示による。 下記ものを監督職員に提出する。 <table border="1"> <tr><th></th><th>部数(ネガ1枚につき)</th><th>分 類・規 格</th><th>原版の大きさ(mm)</th></tr> <tr><td>着 工 前</td><td>1</td><td>カラーサービス版</td><td>24×36以上</td></tr> <tr><td>工 事 中</td><td>1</td><td>カラーサービス版</td><td>24×36以上</td></tr> <tr><td rowspan="4">完 成 時</td><td rowspan="2">屋 内</td><td>1</td><td>カラーサービス版 24×36以上</td></tr> <tr><td>(5)箇所</td><td>カラーキャビネ版 60×70以上</td></tr> <tr><td rowspan="2">外 観</td><td>1</td><td>カラーキャビネ版 24×36以上</td></tr> <tr><td>(2)箇所</td><td>カラーパネル半切 60×70以上</td></tr> </table> 写真をデジタル写真で撮影する場合には、完成写真については有効画素数300万画素程度、工事写真は有効画素数130万画素程度とし、黒板の文字等の内容が判読できる精度を確保するものとする。 完成写真撮影場所は、監督職員の指示による。 完成写真撮影者は、監督職員の承諾する撮影業者(建築写真専門業者)とする。		部数(ネガ1枚につき)	分 類・規 格	原版の大きさ(mm)	着 工 前	1	カラーサービス版	24×36以上	工 事 中	1	カラーサービス版	24×36以上	完 成 時	屋 内	1	カラーサービス版 24×36以上	(5)箇所	カラーキャビネ版 60×70以上	外 観	1	カラーキャビネ版 24×36以上	(2)箇所	カラーパネル半切 60×70以上	1 一般共通事項 処理計画書の提出 再生資源利用促進計画書、実施書を「CREDAS入力法」により作成し、提出用フォルダと共に提出すること。 建設発生土及び建設副産物処理計画書、報告書を提出すること。 マニフェスト制度 産業廃棄物管理票(マニフェスト)制度により、適正な処理を行うこと。 産業廃棄物の処理を委託する場合は、運搬と処分についてそれぞれの許可業者と処理委託料を記載した「処理委託契約書」により委託契約すること。  既存破壊部分の補修方法 図示による  <table border="1"> <tr><th>工事種別</th><th>適用する技能士の技能検定における選択作業</th></tr> <tr><td>仮設工事</td><td>とび作業</td></tr> <tr><td>鉄筋工事</td><td>鉄筋組立作業</td></tr> <tr><td>コンクリート工事</td><td>左官作業 型枠工事作業 コクリート圧送工事作業</td></tr> <tr><td>鉄骨工事</td><td>構造物鉄工作業 とび作業</td></tr> <tr><td>ブロック及びALC工事</td><td>ブロック・ブロック工事作業 ALC工事作業</td></tr> <tr><td>カーポート工事</td><td>金属製カーポート施工作業 ビル用施工作業 がら工事作業</td></tr> <tr><td>防水工事</td><td>アクリル防水工事作業 シリコン防水工事作業 ウレタン系塗膜防水工事作業 メチル系防水工事作業 アクリル系塗膜防水工事作業 FRP防水工事作業 合成ゴムシート防水工事作業 塩化ビニルシート防水工事作業 改質アクリル樹脂防水工事作業</td></tr> <tr><td>石工事</td><td>石張り作業</td></tr> <tr><td>タイル工事</td><td>タイル張り作業</td></tr> <tr><td>木工工事</td><td>大工工事作業</td></tr> <tr><td>屋根及びとび工事</td><td>内外装板金作業 かわらぶき作業 ルーフ工事作業</td></tr> <tr><td>金属工事</td><td>鋼製下地工事作業 内外装板金作業</td></tr> <tr><td>左官工事</td><td>左官作業</td></tr> <tr><td>塗装工事</td><td>建築塗装作業</td></tr> <tr><td>建具工事</td><td>ビル用施工作業 自動ドア工事作業 がら工事作業</td></tr> <tr><td>内装工事</td><td>プラスチック系床仕上げ工事作業 ボード仕上げ工事作業 カーペット系床仕上げ工事作業 壁装作業</td></tr> <tr><td>排水工事</td><td>建築配管工事</td></tr> <tr><td>舗装工事</td><td>溶融バインドマーカー工事作業 加熱バインドマーカー工事作業</td></tr> <tr><td>植栽工事</td><td>造園工事作業</td></tr> </table> ただし技能士に代わる者による施工の場合は監督職員の承諾を得ること。  16 施工の検査等 (1.6.5) 見本施工の実施 適用する( ) 適用しない  化学物質の濃度測定 (1.6.9) 適用する(適用事項は、現場説明書による) 適用しない  完成図 (1.8.2) 作成する(提出部数 2部 部) 詳細は監督職員の指示による。 完成図等の電子データによる提出については、現場説明書による。  保全に関する資料 (1.8.3) 作成する(提出部数 2部 部) 作成しない 敷地、建物の構造規模、主要な設備構成等の建物概要 建物を使用する上での注意事項 建物に設置されている家具、機器等及び部位毎の仕上げの概要説明 建物、工作物、植栽等を管理する上での保全業務の要点 主要材料の製造所名、所在地、連絡先、非常時の連絡体制一覧表 建設大臣官房官庁営繕部監修「管理者のための建築物保全の手引き」及び「建築保全業務共通仕様書」を参考として作成すること。	工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業	仮設工事	とび作業	鉄筋工事	鉄筋組立作業	コンクリート工事	左官作業 型枠工事作業 コクリート圧送工事作業	鉄骨工事	構造物鉄工作業 とび作業	ブロック及びALC工事	ブロック・ブロック工事作業 ALC工事作業	カーポート工事	金属製カーポート施工作業 ビル用施工作業 がら工事作業	防水工事	アクリル防水工事作業 シリコン防水工事作業 ウレタン系塗膜防水工事作業 メチル系防水工事作業 アクリル系塗膜防水工事作業 FRP防水工事作業 合成ゴムシート防水工事作業 塩化ビニルシート防水工事作業 改質アクリル樹脂防水工事作業	石工事	石張り作業	タイル工事	タイル張り作業	木工工事	大工工事作業	屋根及びとび工事	内外装板金作業 かわらぶき作業 ルーフ工事作業	金属工事	鋼製下地工事作業 内外装板金作業	左官工事	左官作業	塗装工事	建築塗装作業	建具工事	ビル用施工作業 自動ドア工事作業 がら工事作業	内装工事	プラスチック系床仕上げ工事作業 ボード仕上げ工事作業 カーペット系床仕上げ工事作業 壁装作業	排水工事	建築配管工事	舗装工事	溶融バインドマーカー工事作業 加熱バインドマーカー工事作業	植栽工事	造園工事作業	2 仮設工事 既存部分の養生 (2.3.1) 養生方法 行う(ビニールシート ) 行わない 既存家具等の養生 行う(ビニールシート ) 行わない 既存ブラインド・カーテン等の養生及び保管 行う 行わない 養生の方法 取り外しのうえ清掃 保管場所 室内にてカバー掛の上、適切保管 家具の移動 行う(図示) 行わない  仮設間仕切り (2.3.2) 設ける(図示) A種 B種 C種 設けない  4 監督職員事務所 (2.4.1) 規模 10m程度 20m程度 35m程度 65m程度 100m程度 仕上 床 合板張り素地 ビニルシート敷き バックアップ敷き 内壁、天井 合板又はせっこうボード張り、合成樹脂珪藻土塗り 屋根 塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り 鉄板張り鋼板コンクリート塗り 休憩室 設けない 設ける(畳敷き) 備品 机 いす 保護帽 ゴム長靴 雨がっぱ 衣類ほか(上記6品、1人分程度) 書棚 黒板 製図板 掛時計 温度計 消火器 掃除具 懐中電灯 湯沸器 加入電話機 冷蔵庫機器 コピー機 ネット回線 流し台 改修標仕(平成25年版) 建築改修工事監理指針(平成25年版) 建築工事施工チェックシート 建築工事標準詳細図(平成22年版) 工事写真の撮り方(改訂3版)建築編  工用水 構内既存の施設 利用できない 利用できる(有償 無償)  工用電力 構内既存の施設 利用できない 利用できる(有償 無償)  7 仮囲い等 設計G L 図示による 設計G L = 現状G L  1 埋め戻し及び盛土 (3.2.3) A種 砂質土(山砂の類)を水締め又は機器による締固め (表3.2.1) B種 根切り土の中の良質土を機器による締固め C種 他現場の建設発生土の中の良質土を機器による締固め D種 再生コンクリート砂を水締め又は機器による締固め 建設発生土(盛土材)の外側からの受入土量( m ) 発生場所( )  2 建設発生土の処理 (3.2.5) 下記に定めるほかは、現場説明書による 構外指定の受入場所に処分 受入場所 (一財)城陽山砂利採取地整備公社 土壌調査 行う(受入場所指定の検査) 京都府土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例 施行規則第7条第3項13号及び第4項に規定する方法 仮置場所 構内指示の場所に敷き均し 構内指示の場所にたい積 構外搬出適切処理 中丹東土木事務所管内及び丹後土木事務所管内で、 搬出土量が少量(500m <sup>3</sup> 以内)かつ緊急の場合等 (表5.2.1)  3 鉄筋の種類 (5.2.1) <table border="1"> <tr><th rowspan="3">異形鉄筋</th><th>種類の記号</th><th>径(mm)</th><th>備 考</th></tr> <tr><td>S D 2 9 5 A</td><td>D 1 6 以下</td><td></td></tr> <tr><td>S D 3 4 5</td><td>D 1 9 以上</td><td></td></tr> </table>  4 溶接金網 (5.2.2) 網目の形状、寸法 鉄線の径 mm  5 コンクリートの種類 (6.2.1) 種類 普通コンクリート (表6.2.1) 種別 類 類  6 コンクリートの強度 (6.2.2) <table border="1"> <tr><th>設計基準強度 (F<sub>c</sub>)</th><th>打 設 部 位</th><th>F<sub>c</sub> (N/mm<sup>2</sup>)</th><th>スラブ (cm)</th><th>備 考</th></tr> <tr><td rowspan="3">構造体</td><td>基礎</td><td>2.1</td><td>1.5 1.8</td><td></td></tr> <tr><td>上部</td><td>2.1</td><td>1.5 1.8</td><td>土間スラブを含む</td></tr> <tr><td>土間コンクリート</td><td>1.8</td><td>1.5 1.8</td><td>側溝・犬走り</td></tr> <tr><td rowspan="3">捨コンクリート</td><td>1.8</td><td>1.5 1.8</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>軽量コンクリート</td><td>2.1</td><td>1.5 1.8</td><td></td></tr> <tr><td>無筋コンクリート</td><td>1.8</td><td>1.5 1.8</td><td>標仕6.14.1による</td></tr> </table> 構造体コンクリートの発注強度は以下のとおりとする。 { F <sub>c</sub> + 構造体強度補正值 (S) } N/mm <sup>2</sup> (6.14.1によるもの及び土間コンクリートは構造体強度補正は行わない)	異形鉄筋	種類の記号	径(mm)	備 考	S D 2 9 5 A	D 1 6 以下		S D 3 4 5	D 1 9 以上		設計基準強度 (F <sub>c</sub> )	打 設 部 位	F <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	スラブ (cm)	備 考	構造体	基礎	2.1	1.5 1.8		上部	2.1	1.5 1.8	土間スラブを含む	土間コンクリート	1.8	1.5 1.8	側溝・犬走り	捨コンクリート	1.8	1.5 1.8			軽量コンクリート	2.1	1.5 1.8		無筋コンクリート	1.8	1.5 1.8	標仕6.14.1による
	棟 名	構 造	階 数	建築面積 (m <sup>2</sup> )	延べ面積 (m <sup>2</sup> )	備 考																																																																																																																																			
	ふれあいホール	鉄骨造	1	469.18	469.18																																																																																																																																				
	部数(ネガ1枚につき)	分 類・規 格	原版の大きさ(mm)																																																																																																																																						
着 工 前	1	カラーサービス版	24×36以上																																																																																																																																						
工 事 中	1	カラーサービス版	24×36以上																																																																																																																																						
完 成 時	屋 内	1	カラーサービス版 24×36以上																																																																																																																																						
		(5)箇所	カラーキャビネ版 60×70以上																																																																																																																																						
	外 観	1	カラーキャビネ版 24×36以上																																																																																																																																						
		(2)箇所	カラーパネル半切 60×70以上																																																																																																																																						
工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業																																																																																																																																								
仮設工事	とび作業																																																																																																																																								
鉄筋工事	鉄筋組立作業																																																																																																																																								
コンクリート工事	左官作業 型枠工事作業 コクリート圧送工事作業																																																																																																																																								
鉄骨工事	構造物鉄工作業 とび作業																																																																																																																																								
ブロック及びALC工事	ブロック・ブロック工事作業 ALC工事作業																																																																																																																																								
カーポート工事	金属製カーポート施工作業 ビル用施工作業 がら工事作業																																																																																																																																								
防水工事	アクリル防水工事作業 シリコン防水工事作業 ウレタン系塗膜防水工事作業 メチル系防水工事作業 アクリル系塗膜防水工事作業 FRP防水工事作業 合成ゴムシート防水工事作業 塩化ビニルシート防水工事作業 改質アクリル樹脂防水工事作業																																																																																																																																								
石工事	石張り作業																																																																																																																																								
タイル工事	タイル張り作業																																																																																																																																								
木工工事	大工工事作業																																																																																																																																								
屋根及びとび工事	内外装板金作業 かわらぶき作業 ルーフ工事作業																																																																																																																																								
金属工事	鋼製下地工事作業 内外装板金作業																																																																																																																																								
左官工事	左官作業																																																																																																																																								
塗装工事	建築塗装作業																																																																																																																																								
建具工事	ビル用施工作業 自動ドア工事作業 がら工事作業																																																																																																																																								
内装工事	プラスチック系床仕上げ工事作業 ボード仕上げ工事作業 カーペット系床仕上げ工事作業 壁装作業																																																																																																																																								
排水工事	建築配管工事																																																																																																																																								
舗装工事	溶融バインドマーカー工事作業 加熱バインドマーカー工事作業																																																																																																																																								
植栽工事	造園工事作業																																																																																																																																								
異形鉄筋	種類の記号	径(mm)	備 考																																																																																																																																						
	S D 2 9 5 A	D 1 6 以下																																																																																																																																							
	S D 3 4 5	D 1 9 以上																																																																																																																																							
設計基準強度 (F <sub>c</sub> )	打 設 部 位	F <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	スラブ (cm)	備 考																																																																																																																																					
構造体	基礎	2.1	1.5 1.8																																																																																																																																						
	上部	2.1	1.5 1.8	土間スラブを含む																																																																																																																																					
	土間コンクリート	1.8	1.5 1.8	側溝・犬走り																																																																																																																																					
捨コンクリート	1.8	1.5 1.8																																																																																																																																							
	軽量コンクリート	2.1	1.5 1.8																																																																																																																																						
	無筋コンクリート	1.8	1.5 1.8	標仕6.14.1による																																																																																																																																					
1 一般共通事項 電気保安技術者 (1.3.3) 適用する 適用しない  施工条件 (1.3.5) 現場説明書による。  発生材の処理等 (1.3.8) 引渡しを要するもの( ) 現場において再利用を図るもの、再生資源化を図るもの( ) 指定副産物の搬出(詳細は現場説明書による) アスファルトコンクリート塊 セメントコンクリート塊 建設発生木材 指定副産物の処分地(詳細は現場説明書による) 指定地処分( ) 自由処分(最寄りの再生資源化施設へ搬出すること) 指定副産物以外の搬出 構外搬出適切処理( ) 特別管理産業廃棄物の処理 廃石綿等 PCBを含む機器類 PCB含有シーリング 廃油 廃酸・廃アルカリ (臭化リチウム 蓄電池電解液) SF6ガス使用機器 廃石綿の処分地( 梶京都環境保全公社瑞穂センター )  せっこうボードの処理方法 石綿含有せっこうボードの処理 改修標仕9.1.5による ひ素・カドミウム含有のせっこうボードの処理 製造業者にて回収 埋立処分 その他のせっこうボードの処理 最終処分 再資源化  PCB含有シーリング材の分析調査 行う(箇所) 行わない  PCB含有シーリング材の撤去・処分方法は「建築物の解体等に伴う有害物質等の適切な取扱」による。 次の建設廃棄物は再資源化する。 蛍光灯ランプ H I Dランプ 硬質塩化ビニル管・継手	2 仮設工事 足場その他 (2.2.1) 労働安全衛生法、建築基準法、建設工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令に従い、適切な材料及び構造のものとし、適切な保守管理を行う。 外部足場 A種 B種 C種 D種 E種 内部足場 脚立、足場板等 防護シート等 防音パネル 防音シート 養生シート ネット及び養生シート 材料、撤去材等の運搬方法 A種 B種 C種 D種 E種 (表2.2.1)  足場は、「手すり先行工法に関するガイドライン(厚生労働省 基発第0424001号)」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立、解体又は変更の作業は「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式を採用すること。	PROJECT NO 京丹波町ロケーションオフィス事務所整備事業 DRAIN BY CHECKED BY DATE H29.07.31 SCALE 建設改修工事特記仕様書 1 A-2	建設改修工事特記仕様書 1 A-2																																																																																																																																						

PROJECT NO 京丹波町ロケーションオフィス事務所整備事業		建設改修工事特記仕様書 1		建築
DRAIN BY	CHECKED BY	DATE H29.07.31	SCALE	A-2



章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項									
4	4 浮き部改修工法 (4.4.10)~(4.4.15)	○モルタル塗り仕上げ	4	7 Uカットシール材 充填工法(4.3.5)	シーリング材の上にポリマーセメントモルタル ○行う	4	14 既存塗膜等の除去 及び下地処理 (4.6.3) (4.6.4)	既存塗膜の除去方法 *試験施工実施 ○サンダー工法 ○高圧水洗工法(試験施工実施)(加圧力 ○30Mpa ○ ) ○塗膜はく離剥工法(製造所: ) ○水洗い工法 (○イソシアナート ○高圧水圧10~15pa)	5	10 鋼製建具 (5.4.2)~(5.4.4)	外部に面する建具の耐風圧性 ○S-4 ○S-5 ○S-6 (表5.2.1) 簡易気密扉の気密性、水密性 *適用する ○適用しない (表5.4.1) ○防音ドアセット、防音サッシの適用(遮音性の等級 ) ○断熱ドアセット、断熱サッシの適用(断熱性の等級 ) ○耐震ドアセットの適用 (面内変形追随性の等級 ) JISただし書き建具の寸法許容差(これ以外は改修標準による) *製造所標準製作規定寸法許容差による 鋼板 ○溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3302による) めっきの付着量 *Z12又はF12を満足するもの ○ ○溶融亜鉛-5%7%Niメッキ合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3317による) めっきの付着量 *Y08を満足するもの ○ 鋼板類の厚さ *表5.4.2(片開き、親子開き及び面開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) ○ mm									
		○アケヒンシロ部分 球*樹脂注入工法			0.25			浮き代 の面積 (㎡)			1.0	*13○	注入口 (箇所/㎡)	12○	充填量 (箇所/㎡)	25	注入量 (箇所/㎡)	25	施工箇所	
		○アケヒンシロ全面 球*樹脂注入工法			0.25			1.0			*20○	*20○	○	○	○	○	○	○	○	○
		○アケヒンシロ全面 球*樹脂注入工法			0.25			1.0			*13○	*12○	*25	*50	○	○	○	○	○	○
		○アケヒンシロ全面 球*樹脂注入工法			0.25			1.0			*20○	*20○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	5 目地改修工法 (4.1.4) (4.5.16)	○モルタル塗り仕上げ	5	8 アケヒンシロ 注入工法(4.2.2)	アンカーピンの材質 *ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mm、全ネジ切り丸棒 ○	5	15 マスチック塗材 塗り(4.6.6)	種類 ○A種 *B種 (表4.6.7) 仕上がり 種類 適用箇所	5	11 鋼製軽量建具 (5.5.2)~(5.5.4)	簡易気密型ドアセットの気密性 *適用する(A-3) ○適用しない ○防音ドアセット、防音サッシの適用(遮音性の等級 ) ○断熱ドアセット、断熱サッシの適用(断熱性の等級 ) ○耐震ドアセットの適用 (面内変形追随性の等級 ) 鋼板 *表面処理亜鉛めっき鋼板 ○ビニル被覆鋼板 ○カラー鋼板 ○ステンレス鋼板 鋼板類の厚さ *表5.5.1(片開き、親子開き及び面開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) ○ mm									
		○アケヒンシロ部分 球*樹脂注入工法			0.25			未満			*16○	*25○	○	○	○	○	○	○	○	
		○アケヒンシロ全面 球*樹脂注入工法			0.25			1.0			*13○	*12○	*25	*25	○	○	○	○	○	
		○アケヒンシロ全面 球*樹脂注入工法			0.25			1.0			*13○	*12○	*25	*50	○	○	○	○	○	
		○アケヒンシロ全面 球*樹脂注入工法			0.25			1.0			*20○	*20○	○	○	○	○	○	○	○	
6	6 樹脂注入工法 (4.2.2) (4.3.4)	建築補修用注入エポキシ樹脂 *低粘度形 ○中粘度形	6	9 注入口付アケヒンシロ注入工法 (4.2.2)	注入口付アンカーピンの材質 *ステンレス鋼(SUS304)、呼び径6mm ○	6	16 部分改修工法 (4.6.7)	仕上がり塗材の種類 ○薄付け仕上塗材 ○厚付け仕上塗材又は復層仕上塗材 ○防水形復層仕上塗材 ○マスチック塗材 施工箇所 ○別図に示す範囲 ○	6	12 ステンレス製建具 (5.6.2)~(5.6.5)	外部に面する建具の耐風圧性 ○S-4 ○S-5 ○S-6 (表5.2.1) 簡易気密扉の気密性、水密性 *適用する ○適用しない (表5.4.1) ○防音ドアセット、防音サッシの適用(遮音性の等級 ○T-1 ○T-2 ○T-3) ○断熱ドアセット、断熱サッシの適用(断熱性の等級 ○H-2 ○H-3) ○耐震ドアセットの適用 (面内変形追随性の等級 ○D-1 ○D-2) ステンレス鋼板 *JIS G 4305 ステンレス鋼板(屋外) *SUS304 ○SUS430J1L ○SUS443J1 ステンレス鋼板(屋内) *SUS304 ○SUS430J1L ○SUS443J1 ○SUS430 JISただし書き建具の寸法許容差 *製造所標準製作規定寸法許容差による 表面仕上げ *H/L仕上げ ○鏡面仕上げ 曲げ加工 *普通曲げ ○角出し曲げ マスターキーの製作 *作成する(2グループ、各グループ 個) ○作成しない 開き戸 (表5.7.1)									
		ひび割れの幅(mm)			0.2~0.3			未満			0.3~0.5	未満	0.5~1.0	以下	○	○	○	○	○	
		注入孔の間隔(mm)			200程度			300程度			300程度	300程度	○	○	○	○	○	○	○	
		注入量(CC/mm)																		
					*自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ○手動式エポキシ樹脂注入工法 ○機械式エポキシ樹脂注入工法															
7	7 樹脂注入工法 (4.2.2) (4.3.4)	コーバ抜きによるひび割れ部の注入状況の確認 *行わない ○行う(抜取り個数 *改修標準4.3.4(f)(1)による ○ ) (抜取り部分の補修方法 )	7	10 モルタル塗替え 工法(4.2.2)	既製目地材 ○使用する(形状 )	7	16 部分改修工法 (4.6.7)	種類 ○A種 *B種 (表4.6.7) 仕上がり 種類 適用箇所	7	13 上塗材 (4.1.5) (4.2.2) (4.6.5)	○シール工法(*仕上げ塗材は外壁仕上塗材の上塗り材とする。) *塗膜防水(*弾性ウレタン系 ○エポキシ系)									
		○アケヒンシロ部分 球*樹脂注入工法			0.25			未満			*16○	*25○	○	○	○	○	○	○		
		○アケヒンシロ全面 球*樹脂注入工法			0.25			1.0			*13○	*12○	*25	*25	○	○	○	○	○	
		○アケヒンシロ全面 球*樹脂注入工法			0.25			1.0			*13○	*12○	*25	*50	○	○	○	○	○	
		○アケヒンシロ全面 球*樹脂注入工法			0.25			1.0			*20○	*20○	○	○	○	○	○	○	○	
8	8 目地改修工法 (4.1.4) (4.5.16)	○モルタル塗り仕上げ	8	11 タイル部分張替え工法 及びタイル張替え工法 (4.2.2) (4.5.8)	施工箇所及び タイルの種別	8	17 アルミニウム製 建具(5.2.2) ~(5.2.5)	外部に面するアルミニウム製建具の性能等級 (表5.2.1)	8	14 鋼製建具 (5.7.2)~(5.7.4)	○シリンドラー箱錠	○握り玉:スチルス ●IHA-ハットル:7%Niメッキ合金、 (○スチルス、○黄銅)	●取付位置 (FL+1000) 実用性能項目 *グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量 建具、スチルス建具) ○							
		○アケヒンシロ部分 球*樹脂注入工法			0.25			未満			*16○	*25○	○	○	○	○	○	○	○	
		○アケヒンシロ全面 球*樹脂注入工法			0.25			1.0			*13○	*12○	*25	*25	○	○	○	○	○	
		○アケヒンシロ全面 球*樹脂注入工法			0.25			1.0			*13○	*12○	*25	*50	○	○	○	○	○	
		○アケヒンシロ全面 球*樹脂注入工法			0.25			1.0			*20○	*20○	○	○	○	○	○	○	○	
9	9 目地改修工法 (4.1.4) (4.5.16)	○モルタル塗り仕上げ	9	12 窓下人研面台の 補修	○シール工法(*仕上げ塗材は外壁仕上塗材の上塗り材とする。) *塗膜防水(*弾性ウレタン系 ○エポキシ系)	9	18 アルミニウム製 建具(5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	9	15 鋼製建具 (5.7.2)~(5.7.4)	○本締り錠	シリンドラー:スチルス	実用性能項目 *グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量 建具、スチルス建具) ○							
		○アケヒンシロ部分 球*樹脂注入工法			0.25			未満			*16○	*25○	○	○	○	○	○	○	○	
		○アケヒンシロ全面 球*樹脂注入工法			0.25			1.0			*13○	*12○	*25	*25	○	○	○	○	○	
		○アケヒンシロ全面 球*樹脂注入工法			0.25			1.0			*13○	*12○	*25	*50	○	○	○	○	○	
		○アケヒンシロ全面 球*樹脂注入工法			0.25			1.0			*20○	*20○	○	○	○	○	○	○	○	
10	10 目地改修工法 (4.1.4) (4.5.16)	○モルタル塗り仕上げ	10	13 上塗材 (4.1.5) (4.2.2) (4.6.5)	○シール工法(*仕上げ塗材は外壁仕上塗材の上塗り材とする。) *塗膜防水(*弾性ウレタン系 ○エポキシ系)	10	19 アルミニウム製 建具(5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	10	16 鋼製建具 (5.7.2)~(5.7.4)	○空錠	○握り玉:スチルス ●IHA-ハットル:7%Niメッキ合金、 (○スチルス、○黄銅)	●取付位置 (FL+1000)							
		○アケヒンシロ部分 球*樹脂注入工法			0.25			未満			*16○	*25○	○	○	○	○	○	○	○	
		○アケヒンシロ全面 球*樹脂注入工法			0.25			1.0			*13○	*12○	*25	*25	○	○	○	○	○	
		○アケヒンシロ全面 球*樹脂注入工法			0.25			1.0			*13○	*12○	*25	*50	○	○	○	○	○	
		○アケヒンシロ全面 球*樹脂注入工法			0.25			1.0			*20○	*20○	○	○	○	○	○	○	○	

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項			
5	建具改修工事	引き戸 (表5.7.1)	5	21 ガラスブロック (5.13.5)	寸法(mm) 厚さ(mm) 色調 パターン 防火認定 ○ クリア ○ カラー( ) * なし ○ 乳白 ○ 熱線反射 ○ あり * 品質規格はJIS A 5212 による * 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定める。 ○ 壁用金属枠及び補強材 ○ 骨材 材質 * SUS304 ○ 寸法・形状 * 径5.5mmのはしご形状複筋及び単筋 ○ ○ 化粧目地モルタルの色 ○ 金属製化粧カバー 材質 * SUS304 ○ 寸法・形状 * 図示による ○ ○ 伸縮調整目地の位置	5 木下地等 (6.5.1) ~ (6.5.6)	表面仕上げの程度 ○ A種 * B種 ○ C種 含水率 下地材 * A種 (15%以下) ○ B種 (20%以下) 造作材 * A種 (15%以下) ○ B種 (18%以下) 「製材の日本農林規格」による製材 ○ 下地用針葉樹製材 使用箇所 樹種 寸法 等級 形状 含水率 ○ 造作用針葉樹製材 使用箇所 樹種 寸法 等級 形状 含水率 ○ 広葉樹製材 使用箇所 樹種 寸法 等級 形状 含水率 「製材の日本農林規格」以外の製材 (表12.2.2) 使用箇所 樹種 寸法 材面の品質 防虫処理 難燃処理 含水率 * A種 ○ B種 使用木材のうち杉、ひのきについては京都府内産木材とする。 ○ 工事完成までに、京都府内産木材証明書及びカット・マルチ・CO2計算書を提出すること。 証明書及び計算書の発行に係る手続きについては次の機関による。 京都府地球温暖化防止活動推進センター TEL: 075-211-8895 URL: http://www.kcfca.or.jp/wood/index.php 注) 証明書は製材所、流通業者の全てが取扱い事業者でなければ発行されない。 詳細は上記URLを参照すること。 ○ 工事完成までに、京都府内産木材の産地証明書を提出すること。 代用材種 * 可 (表6.5.4) (上記府内産木材の他、特記されているものは不可) ○ 不可	床張り用合板等 普通合板 使用箇所 厚さ 樹種名 接着程度 板面の品質 その他処理 * 押入れ、物入れ * 5.5mm ○ * 1類 * 広葉樹 * 2等以上 ○ 防虫処理 ○ 燃焼処理 ○ 防炎処理 構造用合板 使用箇所 等級 厚さ 樹種名 接着程度 板面の品質 その他処理 * 畳床下地材、* 2級以上 * 12mm * 1類 * C-D以上 ○ 防虫処理 * リンガ張り下地材 ○ ○ ○ 特類 ○ パーティクルボード 使用箇所 厚さ 板面の品質 * 15mm ○ * 13Pタイプ又は13Mタイプ 構造用パネル 使用箇所 等級 厚さ 防腐・防蟻処理 * 行う (○ 薬剤の加圧注入 ○ 薬剤の塗布) ○ 行わない 防虫処理 * 行う (範囲: 70材等 * 「製材の日本農林規格」による保存処理 K1) ○ 行わない ⑥ 軽量鉄骨天井 下地 (6.6.2) ~ (6.6.4) 野縁等の種類 屋内 * 19型 ○ 25型 (表6.6.1) 屋外 * 19型 * 25型 屋外の野縁受け・吊りボルト・インサートの間隔 _____ mm 屋外の周辺部の端からの寸法 _____ mm 屋外の野縁の間隔 _____ mm 屋外のはずれ留め補強 * 有り ○ 無し 既存の埋込みインサートの使用 * 再利用しない ○ 再利用する あと施工アンカーの引抜き試験 ○ 行う ( _____ 箇所以上、 _____ N/箇所) ○ 行わない 開口補強 吊りボルト間隔が900mmを超える場合の補強方法 * 図示による ○ 天井のふとこ (1.5m以上3m以下) * 行う (3mを超える) * 行う ( 図示による ) 天井下地材における耐震性を考慮した補強 ○ 行う ○ 行わない 屋外の軒天井、ピロティ天井等における耐風圧性を考慮した補強 ○ 行う ○ 行わない スタッド、ランナー等の種類 (表6.7.1) * 表6.7.1 におけるｽﾀｯﾄﾞの高さによる区分に応じた種類 ○ スタッドの高さが5mを超える場合 * 図示による ○ ⑧ ビニル床シート ビニル床シート及びゴム床タイル張り (6.8.2) ⑦ 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3) ● ビニル床シート 区分 種類 記号 厚さ(mm) 色柄 工法 施工箇所 発泡層無 ○ 単層ビニル床シート TS * 複層ビニル床シート FS ○ 2.5 * 無地 * 熱溶接 * 仕上表による * 2.0 発泡層有 ○ 発泡複層ビニル床シート HS ● 3.0 ● マーブル ○ クッションフロア KS ○ ビニル床タイル 区分 種類 記号 厚さ(mm) 品質・規格 接合形 ○ コシ/シヨビニル床タイル KT ○ 単層ビニル床タイル TT ○ 2.5 ○ 複層ビニル床タイル FT * 2.0 厚さ形 ○ 置敷きビニル床タイル FOA ○ ○ 薄型置敷きビニル床タイル FOB ○ 帯電防止床シート又はタイル 種類 性能 厚さ(mm) ○ 帯電防止床シート * 体積抵抗値 1.0×10 <sup>9</sup> Ω以下 ○ 帯電防止床タイル ○ ○ 視覚障害者用床タイル 種類 寸法(mm) 厚さ(mm) ○ 強化ビニル系 * 300mm角 ○ レジンコンクリート系 ○ 150mm角 ○ 磁器又はセラミックタイル ○						
		14 自動ドア開閉装置 (5.8.2) ~ (5.8.3)							(表5.8.1) ~ (表5.8.3)	② 木製建具 (16.7.2) * 公共建築工事標準仕様書 (H28年版)による。	② 揮発性有機化合物対策 (6.5.2)(6.5.4) (6.10.2)(6.11.2) (6.11.4)(6.13.2)	② 他部分との取り合い等 (6.1.3)	③ 既存床の撤去等 (6.2.2)	③ 既存壁の撤去等 (6.3.2)
		15 自閉式上吊り引戸装置 (5.9.3)							性能値等の区分 (表5.9.1)	② 揮発性有機化合物対策 (6.5.2)(6.5.4) (6.10.2)(6.11.2) (6.11.4)(6.13.2)	② 他部分との取り合い等 (6.1.3)	③ 既存床の撤去等 (6.2.2)	③ 既存壁の撤去等 (6.3.2)	
		16 重量シャッター (5.10.2) ~ (5.10.4)							種類 ○ 一般重量シャッター (シャッターケース ○ 設ける) 耐風圧強度 ( ) ○ 外壁用防火シャッター (シャッターケース * 設ける) 耐風圧強度 ( ) ○ 屋内用防火シャッター (シャッターケース * 設ける) ○ 屋内用防煙シャッター (シャッターケース * 設ける) 開閉方法 * 上部電動式 (手動併用) ○ 上部手動式 (電動式シャッターには保護装置を設ける。) スラット及びシャッターケース用鋼板	② 揮発性有機化合物対策 (6.5.2)(6.5.4) (6.10.2)(6.11.2) (6.11.4)(6.13.2)	② 他部分との取り合い等 (6.1.3)	③ 既存床の撤去等 (6.2.2)	③ 既存壁の撤去等 (6.3.2)	
		17 軽量シャッター (5.11.2) ~ (5.11.4)							開閉方法 ○ 上部電動式 (手動併用) * 手動式 (電動式シャッターには保護装置を設ける。) 耐風圧強度 _____ スラット	② 揮発性有機化合物対策 (6.5.2)(6.5.4) (6.10.2)(6.11.2) (6.11.4)(6.13.2)	② 他部分との取り合い等 (6.1.3)	③ 既存床の撤去等 (6.2.2)	③ 既存壁の撤去等 (6.3.2)	
		18 オーバーヘッドドア (5.12.2) ~ (5.12.4)							セクション材 * スチール材 ○ アルミ材 ○ 樹脂材 耐風圧性能 _____ 開閉方法 * バランス式 ○ チェーン式 ○ 電動式 (電動式には保護装置を設ける。) 収納形式 * スタンダード型 ○ ローヘッド型 ○ ハイリフト型 ○ パーチカル型 ガイドレール等 * 溶融亜鉛めっき鋼板 ○ ステンレス鋼板	② 揮発性有機化合物対策 (6.5.2)(6.5.4) (6.10.2)(6.11.2) (6.11.4)(6.13.2)	② 他部分との取り合い等 (6.1.3)	③ 既存床の撤去等 (6.2.2)	③ 既存壁の撤去等 (6.3.2)	
		⑨ ガラス (5.13.2) ~ (5.13.4)							材料	② 揮発性有機化合物対策 (6.5.2)(6.5.4) (6.10.2)(6.11.2) (6.11.4)(6.13.2)	② 他部分との取り合い等 (6.1.3)	③ 既存床の撤去等 (6.2.2)	③ 既存壁の撤去等 (6.3.2)	
		⑩ ガラス留め材 (5.13.2)							ガラス溝の大きさ (表5.13.1)	② 揮発性有機化合物対策 (6.5.2)(6.5.4) (6.10.2)(6.11.2) (6.11.4)(6.13.2)	② 他部分との取り合い等 (6.1.3)	③ 既存床の撤去等 (6.2.2)	③ 既存壁の撤去等 (6.3.2)	
									ガラス留め材 (表5.13.1)	② 揮発性有機化合物対策 (6.5.2)(6.5.4) (6.10.2)(6.11.2) (6.11.4)(6.13.2)	② 他部分との取り合い等 (6.1.3)	③ 既存床の撤去等 (6.2.2)	③ 既存壁の撤去等 (6.3.2)	

Chapter 6: Interior Renovation Work. Includes sections for carpeting (9), floorings (10), and flooring (11). Tables specify material types, thicknesses, and installation methods for various flooring materials like vinyl, carpet, and wood flooring.

Chapter 7: Painting and Wall Work. Includes sections for wall paper (12), plaster (13), and wall treatments (14). Tables define material grades, fire performance, and application methods for wall coverings and treatments.

Chapter 8: Painting and Coating Work. Includes sections for painters (15), materials (16), primers (17), and painting processes (18). Tables list material types, application areas, and specifications for various coatings and primers.

Chapter 9: Reinforcement and Concrete Work. Includes sections for reinforcement (19), concrete strength correction (20), and concrete materials (21). Tables provide details on reinforcement types, concrete grades, and material specifications.

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	
8-2 耐震補強工事(コンクリート工事)	4 構造用モルタル (8.2.6)	モルタル圧縮強度 フロー値	8-4 耐震補強工事(鉄骨工事)	1 鉄骨の製作工場 (8.1.5)	○ 監督職員の承諾する工場 * 建築基準法第77条の5第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター又は(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鋼構工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「(OS OH OM OR OJ)グレード」として、国土交通大臣から認定を受けた工場もしくは同等以上の能力のある工場	8-4 耐震補強工事(鉄骨工事)	13 アンカーボルト (7.2.4) (7.10.3) * 公共建築工事標準仕様書(H25版)による。	適用 ○ 構造用アンカーボルト 材質 ○ SNR400B ○ アンカーフレームの形状及び寸法 ○ ○ 図示による ○ ○ 建方用アンカーボルト 材質 ○ SS400 アンカーボルトの保持及び埋め込み工法 (表7.10.1) 種別 ○ A種 ○ B種 ○ C種 柱底均しモルタルの厚さ ○ 50mm ○ 30mm	8-7 耐震補強工事(鉄骨ブレース設置工事)	6 既存構造体との取合い (8.19.9)	* 8.19.9の方法による他、以下に注意する * 開口周囲の既存壁をはずし、既存壁筋を露出させ、これに増設する壁筋をフレアー溶接又は重ね継ぎ手により接続する。 * 開口周囲の既存壁にあと施工アンカーを打設し、これに増設する壁筋をフレアー溶接又は重ね継ぎ手により接続する。(壁が厚くW配筋の場合) * 開口打設部全てについてグラウト剤を注入する。(壁が薄い場合) ○ 図示による	
	5 型枠(せき板) (8.1.4) (8.2.6) (8.2.7) (8.7.8)	合板の規格 * 「合板の日本規格」の「コンクリート用合板の規格」による合板 ○ 合板の材質 * 広葉樹合板、針葉樹合板又はこれらの複合合板 ○ 厚さ(mm) * 12 ○ 打放し仕上げのせき板 * 合板せき板を用いる場合 (表8.1.3) 種別 版面の品質 施工箇所 ○ A種 * 8.2.7(b)(1) ○ ○ B種 * 8.2.7(b)(2) ○ ○ C種 * 8.2.7(b)(2) ○ ○ 合板せき板を用いない場合 せき板の種類		2 施工管理技術者 (8.1.5)	* 適用する ○ 適用しない		14 柱底均しモルタル (7.2.9) (7.10.3) * 公共建築工事標準仕様書(H25版)による。	モルタルの種類 * 無収縮モルタル ○ 厚さ * 図示による ○ 工法 * A種 ○ B種		7 仕上げ(8.19.10)	* 図示による ○	
	6 コンクリートの試験 (8.8.2) ~ (8.8.6)	* フレッシュコンクリートの試験 ○ 省略する		3 鋼材の種類 (8.2.8)	種類の記号 使用箇所 規格等 SS400 JIS G 3101 SM400A JIS G 3106 SN400A JIS G 3136 * 図示による		1 グラウト材 (8.2.11)	グラウト材 * 早強型特殊セメント系無収縮モルタル ○ 無収縮モルタルの割合 * 製造所で調査されたプレミックスタイプ ○ 現場調査 無収縮グラウト材の品質 圧縮強度(N/mm <sup>2</sup> ) * 30以上 ○ * 一般部(コナット)と同等以上の強度(鉄筋コナット壁増設工事の壁部部) コンクリート-J140+値(秒) * 6~10 ○ 乾燥収縮(10 <sup>-4</sup> ) * 0 ○ * グラウト材の品質管理は次による 圧縮強度試験 * 行う ○ 行わない コンシステンシー試験 * 行う ○ 行わない		1 補強工法	○ 内側補強工法 ○ 枠付き鉄骨K型ブレース ○ 枠付き鉄骨X型ブレース ○ 枠付き鉄骨類付ブレース ○ 枠付き鉄骨マンサード型ブレース ○ 枠付き有開口鉄板パネル ○ 枠付き無開口鉄板パネル 製造所及び専門業者 ( ) ○ 外側補強工法 ○ 枠付き鉄骨ブレース直付け工法 ○ 枠付き鉄骨ブレース架構増設工法 製造所及び専門業者 ( )	
	7 軽量コンクリート (8.9.1)	常時土又は水に直接接する部分の使用 種別 ○ 1種 ○ 2種 施工箇所 所要気乾単位容積質量 _____ t/m <sup>3</sup>		4 高力ボルト (8.2.9) (8.13.2) (8.13.7)	ボルトの種類 * トルシア形高力ボルト(建築基準法の認定品) ○ JIS形高力ボルト(JIS B 1186) ボルト径 ○ すべり係数試験 * 行わない ○ 行う 試験方法等 ○ 図示による		2 柱底等の均しモルタル(8.2.11)	無収縮モルタル材 ○ 使用する ○ 使用しない		2 既存部分の撤去 (8.20.2)	既存仕上げの撤去範囲 ○ 図示による * 本特記仕様書8-6-2による。 設備機器・配管等の撤去及び移設 ○ 図示による * 本特記仕様書8-6-2による。 既存構造体の撤去範囲 ○ 図示による * 本特記仕様書8-6-2による。 はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処理 ○ 図示による * 本特記仕様書8-6-2による。	
	8 暑中コンクリート (8.10.2)	* 暑中における構造強度補正值(S) 地域 日平均気温が25度を超える期間(打設日) 補正值 北部地域 7月11日~8月31日 * 6N/mm <sup>2</sup> 中部地域 7月21日~8月31日 ○ 3N/mm <sup>2</sup> 南部地域 7月1日~9月10日		5 溶融亜鉛めっき高力ボルト (8.2.9)	セットの種類 ○ 1種(F8T) 摩擦面の処理 ○ プラスト処理(表面粗度50µm Rz以上) ○ リン酸塩処理 すべり耐力等の確認方法 * すべり耐力試験 試験方法等 ○ 図示による ○		3 既存部分の処理 (8.20.3)	目尻し程度 ○ 図示による * 本特記仕様書8-6-3による。		3 既存部分の処理 (8.21.2)	既存仕上げの撤去範囲 * 本特記仕様書8-6-2による他、下記による。 垂れ壁・腰壁を撤去する場合には、風圧力等による安全性を確認の上、30mmのスリットを残して補強を行う。 ○ 図示による 設備機器・配管等の撤去及び移設 ○ 図示による * 本特記仕様書8-6-2による 既存構造体の撤去範囲 ○ 図示による * 本特記仕様書8-6-2による はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処理 ○ 図示による * 本特記仕様書8-6-2による。	
	9 寒中コンクリート	* 予想平均気温が表8.2.4に示す予想平均気温未満の場合には標準第6章第11節(寒中コンクリート)による。		6 工作図 (8.1.6)	高力ボルト、普通ボルト及びアカボルトの埋設距離、ボルト間隔、ゲージ等 * 図示による (図に無い場合は鉄骨設計基準による)		4 鉄筋の加工及び組立て (8.19.6)	割裂補強筋 * 「スパイラル筋」又は「はしご筋(水平鉄筋と直行筋は溶接又は結束する)」 が、鉄筋は直径6mm以上とし、ピッチは40~60mmとする。 ○ 図示による 開口付増設壁の開口端部鉄筋及び増設部で壁の端部補筋 * ダブル配筋=閉鎖型配筋、シングル配筋=フック(3d)付き ○ 図示による		4 既存部分の処理 (8.21.3)	目尻し程度(連続繊維補強工法以外) * 平均深さ2~5mm(max:5mm)程度の凹面を全体の15~30%の面積となるよう全体にわたって付ける。 ○ 図示による 柱の成型(連続繊維補強工法) * 支障となる表面の不陸を調整し、コーナー部をグラインダー等により曲面に成型する。( * 30R ○ ) ○ 図示による	
	10 コンクリート車の過積載防止対策等	受注者は、出荷伝票等を整理・保管し、監督職員の請求があった場合は、遅滞なく提出するとともに、検査時に提示しなければならない。また、ミキサ車1台毎の積載量が把握できる集計表を検査時に提示しなければならない。		7 仮組 (8.12.9)	○ 実施する 部位 ( ) ○ 実施しない		5 コンクリートの打込み工法 (8.19.8)	* 流込み工法 ○ 圧入工法		5 仕上げ (8.20.9)	* 図示による ○	
	8-3 耐震補強工事(あと施工アンカー工事)	1 あと施工アンカー (8.2.4) (8.11.2)		○ 金属系アンカー 引張耐力 _____ セン断耐力 _____ 径 _____ 埋込み深さ _____ セット方式 * 本体打込み式改良型 ○ 接合筋 種類 _____ 長さ _____ 径 _____	8 溶接作業における技能資格者 (8.14.3)		溶接作業者の技量付加試験 * 行わない ○ 行う 試験の要領 ○ 図示による ○	1 補強工法		○ 新設耐震壁 ○ 増打ち耐震壁 ○ 開口部閉鎖壁 ○ 新設補壁 製造所及び専門業者 ( )	1 補強工法	○ 溶接金網巻き工法 ○ 溶接閉鎖フープ巻き工法 ○ 鋼板巻き工法 ○ 帯板巻き付け工法 ○ 連続繊維補強工法 ○
		2 あと施工アンカーの試験 (8.2.4) (8.11.5)		性能確認試験 * 行わない ○ 行う 施工確認試験 * 行う (引張試験機による引張試験 確認強度 _____ ) ○ 行わない	9 溶接接合 (8.14.4) (8.14.7) (8.14.10)		開先の形状 ○ 図示による ○ 構造関係共通図(鉄骨設計標準図)による ○ エンドタブの切除 ○ 有 ○ 無 適用箇所 * 図示による ○ スカラップの形状 ○ 図示による ○ 構造関係共通図(鉄骨設計標準図)による ○ 改良型スカラップ	2 既存部分の撤去 (8.19.2)		既存仕上げの撤去範囲 * 図示による ○ 本工事に支障となる最小限の範囲を撤去し既存構造体を露出させる。 設備機器・配管等の撤去及び移設 * 図示による ○ 既存構造体の撤去範囲 * 図示による ○ はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処理 * 鉄筋は曲げることなく、必要に応じてウレタン等を巻き養生する。また鉄骨は発泡スチロール等で養生する。 ○ 図示による	2 既存部分の撤去 (8.21.2)	既存仕上げの撤去範囲 * 本特記仕様書8-6-2による他、下記による。 垂れ壁・腰壁を撤去する場合には、風圧力等による安全性を確認の上、30mmのスリットを残して補強を行う。 ○ 図示による 設備機器・配管等の撤去及び移設 ○ 図示による * 本特記仕様書8-6-2による 既存構造体の撤去範囲 ○ 図示による * 本特記仕様書8-6-2による はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処理 ○ 図示による * 本特記仕様書8-6-2による。
				10 溶接部の試験 (8.14.11)	○ 浸透探傷試験(JIS Z 2343-1) ○ 磁粉探傷試験(JIS Z 2320-1) * 超音波探傷試験 工場溶接 平均出検品質限界(AOQL) * 4.0% ○ 2.5% 検査水準 * 第6水準 ○ 第水準 現場溶接 平均出検品質限界(AOQL) * 4.0% ○ 2.5%		3 既存部分の処理 (8.19.3)	目尻し程度 既存柱・梁 * 平均深さ2~5mm(max:5mm)程度の凹面を全体の15~30%の面積となるよう全体にわたって付ける。 ○ 図示による 壁(増打ち壁増設の場合) * 平均深さ2~5mm(max:5mm)程度の凹面を全体の10~15%の面積となるよう全体にわたって付ける。 ○ 図示による		3 既存部分の処理 (8.21.3)	目尻し程度(連続繊維補強工法以外) * 平均深さ2~5mm(max:5mm)程度の凹面を全体の15~30%の面積となるよう全体にわたって付ける。 ○ 図示による 柱の成型(連続繊維補強工法) * 支障となる表面の不陸を調整し、コーナー部をグラインダー等により曲面に成型する。( * 30R ○ ) ○ 図示による	
		11 錆止め塗料 (7.3.2) (8.16.3)	塗料の種類 ○ 鉄鋼面の錆止め塗料 ○ 表7.3.1による * A種 ○ B種 ○ 亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料 ○ 表7.3.2による * A種 ○ B種 ○ C種	4 鉄筋の加工及び組立て (8.19.6)	割裂補強筋 * 「スパイラル筋」又は「はしご筋(水平鉄筋と直行筋は溶接又は結束する)」 が、鉄筋は直径6mm以上とし、ピッチは40~60mmとする。 ○ 図示による 開口付増設壁の開口端部鉄筋及び増設部で壁の端部補筋 * ダブル配筋=閉鎖型配筋、シングル配筋=フック(3d)付き ○ 図示による	4 仕上げ (8.20.9)	* 図示による ○					
		12 耐火被覆 (8.17.2) ~ (8.17.9)	耐火被覆材の種類 種類 種類 材料・工法 適用箇所(部位・部分) ○ 耐火材吹付け ○ 乾式吹付ロックウール ○ 半乾式吹付ロックウール ○ 湿式ロックウール ○ ○ 耐火板張り ○ 繊維混入ケイ酸カルシウム板 ○ ○ 耐火材巻付け ○ 高断熱ロックウール ○ ○ 張りも知塗り -	5 コンクリートの打込み工法 (8.19.8)	* 流込み工法 ○ 圧入工法	5 仕上げ (8.20.9)	* 図示による ○					
			性能 性能 適用箇所(部位・部分) ○ 30分耐火 ○ 1時間耐火 ○ 2時間耐火 ○ 3時間耐火									

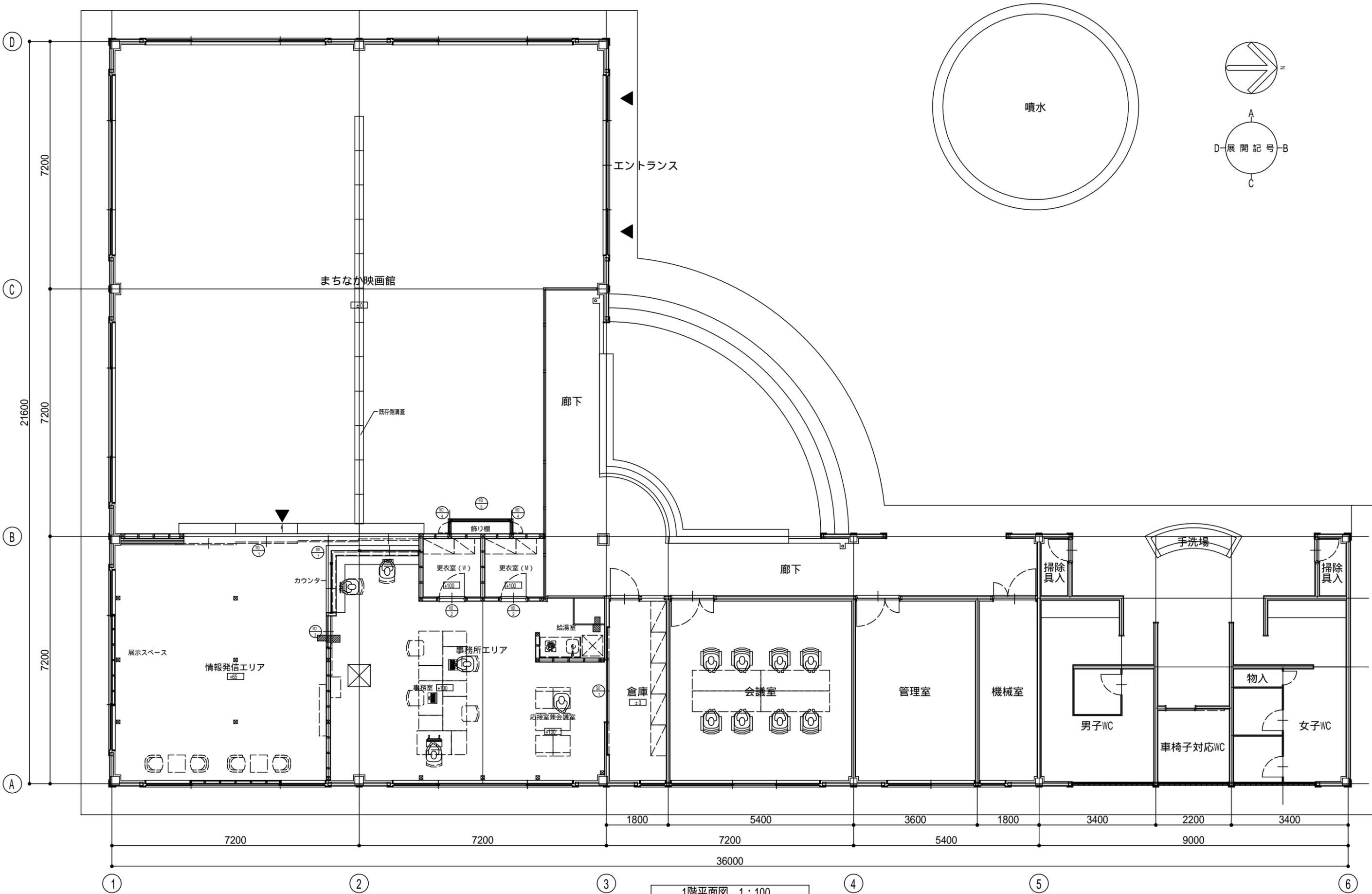
章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
8-8	耐震補強工事(柱補強工事)	6 連続繊維補強工法 (8.2.12)(8.2.17)	8-10	耐震補強工事(免震改修)	4 仕上げ (8.23.13)	9 ユニット及びその他の工事	1 家具、ユニット等の揮発性有機化合物対策	② フリーアクセスフロア (20.2.2)	9 ユニット及びその他の工事	11 ブラインド (20.2.12)	12 ロールスクリーン (20.2.13)
		7 仕上げ (8.21.8)	5 耐火被覆 (8.23.14)		③ フリーアクセスフロアの試験方法						
8-9	耐震補強工事(耐震スリット)	1 耐震スリット新設工事 (8.22.2)	8-11	耐震補強工事(制振改修)	1 既存部分の撤去 (8.24.2)	3 可動間仕切 (20.2.3)	4 移動間仕切 (20.2.4)	5 トイレブース (20.2.5)	⑥ 滑り止め (20.2.6)	7 階段手すり	8 黒板及びホワイトボード (20.2.8)
		品質・規格	2 既存部分の処理 (8.24.3)		⑦ 表示・標識 (20.2.10)(20.2.11)						
8-10	耐震補強工事(免震改修)	1 既存部分の撤去 (8.23.5)	8-10	耐震補強工事(免震改修)	3 減衰材 (8.24.4)(8.24.6)	9 鏡 (20.2.9)	⑩ 表示・標識 (20.2.10)(20.2.11)	9 鏡 (20.2.9)	⑩ 表示・標識 (20.2.10)(20.2.11)	19 展示板	⑫ カウンター
		2 既存部分の処理 (8.23.6)			4 仕上げ (8.24.8)						
8-10	耐震補強工事(免震改修)	3 支承材・減衰材 (8.23.7)(8.23.10)	8-10	耐震補強工事(免震改修)	4 仕上げ (8.24.8)	9 鏡 (20.2.9)	⑩ 表示・標識 (20.2.10)(20.2.11)	9 鏡 (20.2.9)	⑩ 表示・標識 (20.2.10)(20.2.11)	23 非常用救助袋等	24 鍵箱
		5 検査 (8.24.9)			5 検査 (8.24.9)						
8-10	耐震補強工事(免震改修)	品質・規格	8-10	耐震補強工事(免震改修)	5 検査 (8.24.9)	9 鏡 (20.2.9)	⑩ 表示・標識 (20.2.10)(20.2.11)	9 鏡 (20.2.9)	⑩ 表示・標識 (20.2.10)(20.2.11)	26 フェンス	26 フェンス
		性能確認試験			5 検査 (8.24.9)						



章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																								
9	防水工事	<p>2 改質アスファルトシート防水 (9.3.2)~(9.3.4)</p> <p>3 合成高分子系ルーフシート防水 (9.4.2)~(9.4.4)</p> <p>4 塗膜防水 (9.5.3)</p> <p>5 珪酸質系塗布防水 (9.6.3)</p> <p>6 漏水試験</p> <p>7 保証書</p> <p>8 施工確認</p> <p>9 シーリング (9.7.2)~(9.7.5)</p> <p>10 止水板</p>	<p>10 石工事</p>	<p>2 テラス張り (10.2.1)</p> <p>3 壁の石張り工法 (10.2.2)~(10.5.3)</p> <p>4 床及び階段の石張り (10.6.2)~(10.6.3)</p> <p>5 特殊部位の石張り (10.2.2)~(10.7.4)</p>	<p>5 張付け用材料 (11.3.3)</p> <p>6 陶磁器質タイル型枠先付け (11.4.2)~(11.4.3)</p>	<p>12 木工事</p>	<p>1 2 木工事</p>	<p>「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材</p> <p>○造作用単板積層材</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>厚さ</th> <th>表面の品質</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○表面化粧加工なし ○1等 ○2等 ○3等 ○表面化粧加工あり ○天然木化粧加工 ○塗装加工</td> <td></td> </tr> </table> <p>「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材</p> <p>○造作用単板積層材</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>厚さ</th> <th>表面の品質</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○表面化粧加工なし ○ ○表面化粧加工あり ○天然木化粧加工 ○塗装加工</td> <td>※14%以下 ○</td> <td></td> </tr> </table> <p>普通合板</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>厚さ</th> <th>樹種名</th> <th>接着程度</th> <th>板面の品質</th> <th>その他処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1類 ○2類</td> <td>広葉樹 ※2等以上 ○ 針葉樹 ※C-D以上 ○</td> <td>○防虫処理 ○難燃処理 ○防炎処理</td> </tr> </table> <p>構造用合板</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>等級</th> <th>厚さ</th> <th>樹種名</th> <th>接着程度</th> <th>板面の品質</th> <th>その他処理</th> </tr> <tr> <td>※70-70%張り下地材</td> <td>※2級以上</td> <td>※12mm</td> <td></td> <td>※1類 ○特類</td> <td>※C-D以上 ○</td> <td>○防虫処理</td> </tr> </table> <p>パーティクルボード</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>厚さ</th> <th>板面の品質</th> </tr> <tr> <td>フリーアクセスフローアー</td> <td>※20mm ○</td> <td>※13Pタイプ又は13Mタイプ ○</td> </tr> </table> <p>構造用パネル(有孔OSBパネル)</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>等級</th> <th>厚さ</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>防菌・防蟻処理 ※行う (○薬剤の加圧注入 薬剤の塗布) ○行わない</p> <p>防虫処理 ※行う(範囲: 材材等 ※「製材の日本農林規格」による保存処理 K1) ○行わない</p>	使用箇所	厚さ	表面の品質	防虫処理			○表面化粧加工なし ○1等 ○2等 ○3等 ○表面化粧加工あり ○天然木化粧加工 ○塗装加工		使用箇所	厚さ	表面の品質	含水率	防虫処理			○表面化粧加工なし ○ ○表面化粧加工あり ○天然木化粧加工 ○塗装加工	※14%以下 ○		使用箇所	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	その他処理				※1類 ○2類	広葉樹 ※2等以上 ○ 針葉樹 ※C-D以上 ○	○防虫処理 ○難燃処理 ○防炎処理	使用箇所	等級	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	その他処理	※70-70%張り下地材	※2級以上	※12mm		※1類 ○特類	※C-D以上 ○	○防虫処理	使用箇所	厚さ	板面の品質	フリーアクセスフローアー	※20mm ○	※13Pタイプ又は13Mタイプ ○	使用箇所	等級	厚さ				<p>1 性能</p> <p>2 長尺金属板葺 (13.2.2)~(13.2.3)</p> <p>3 折板葺 (13.3.2)</p> <p>4 粘土瓦葺 (13.4.2)~(13.4.3)</p> <p>5 とい(雨水) (13.5.2)~(13.5.3)</p> <p>6 保証書</p>	<p>10 石工事</p>	<p>1 伸縮調整目地等 (11.1.3)</p> <p>2 施工後の確認及び試験 (11.1.5)</p> <p>3 陶磁器質タイル張り (11.2.2)~(11.4.2)</p> <p>4 下地及びタイルこしらえ(11.2.7)</p>	<p>11 タイル工事</p>	<p>1 1 1 1</p>	<p>1 天然石張り (10.2.1)</p>	<p>石の品質 床用石材 ○1等品 ※2等品 壁及びその他の石材 ※1等品 ○2等品</p> <p>石の種類・表面仕上げ (表10.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類(産地、名称、形状、寸法)</th> <th>表面仕上げの種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	種類(産地、名称、形状、寸法)	表面仕上げの種類									
									使用箇所	厚さ	表面の品質	防虫処理																																																																							
											○表面化粧加工なし ○1等 ○2等 ○3等 ○表面化粧加工あり ○天然木化粧加工 ○塗装加工																																																																								
									使用箇所	厚さ	表面の品質	含水率	防虫処理																																																																						
											○表面化粧加工なし ○ ○表面化粧加工あり ○天然木化粧加工 ○塗装加工	※14%以下 ○																																																																							
									使用箇所	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	その他処理																																																																					
												※1類 ○2類	広葉樹 ※2等以上 ○ 針葉樹 ※C-D以上 ○	○防虫処理 ○難燃処理 ○防炎処理																																																																					
									使用箇所	等級	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	その他処理																																																																				
									※70-70%張り下地材	※2級以上	※12mm		※1類 ○特類	※C-D以上 ○	○防虫処理																																																																				
									使用箇所	厚さ	板面の品質																																																																								
フリーアクセスフローアー	※20mm ○	※13Pタイプ又は13Mタイプ ○																																																																																	
使用箇所	等級	厚さ																																																																																	
施工箇所	種類(産地、名称、形状、寸法)	表面仕上げの種類																																																																																	
10	石工事	<p>1 天然石張り (10.2.1)</p> <p>石の品質 床用石材 ○1等品 ※2等品 壁及びその他の石材 ※1等品 ○2等品</p> <p>石の種類・表面仕上げ (表10.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類(産地、名称、形状、寸法)</th> <th>表面仕上げの種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	種類(産地、名称、形状、寸法)	表面仕上げの種類										<p>1 伸縮調整目地等 (11.1.3)</p> <p>2 施工後の確認及び試験 (11.1.5)</p> <p>3 陶磁器質タイル張り (11.2.2)~(11.4.2)</p> <p>4 下地及びタイルこしらえ(11.2.7)</p>	<p>11 タイル工事</p>	<p>1 1 1 1</p>	<p>1 天然石張り (10.2.1)</p>																																																																	
施工箇所	種類(産地、名称、形状、寸法)	表面仕上げの種類																																																																																	

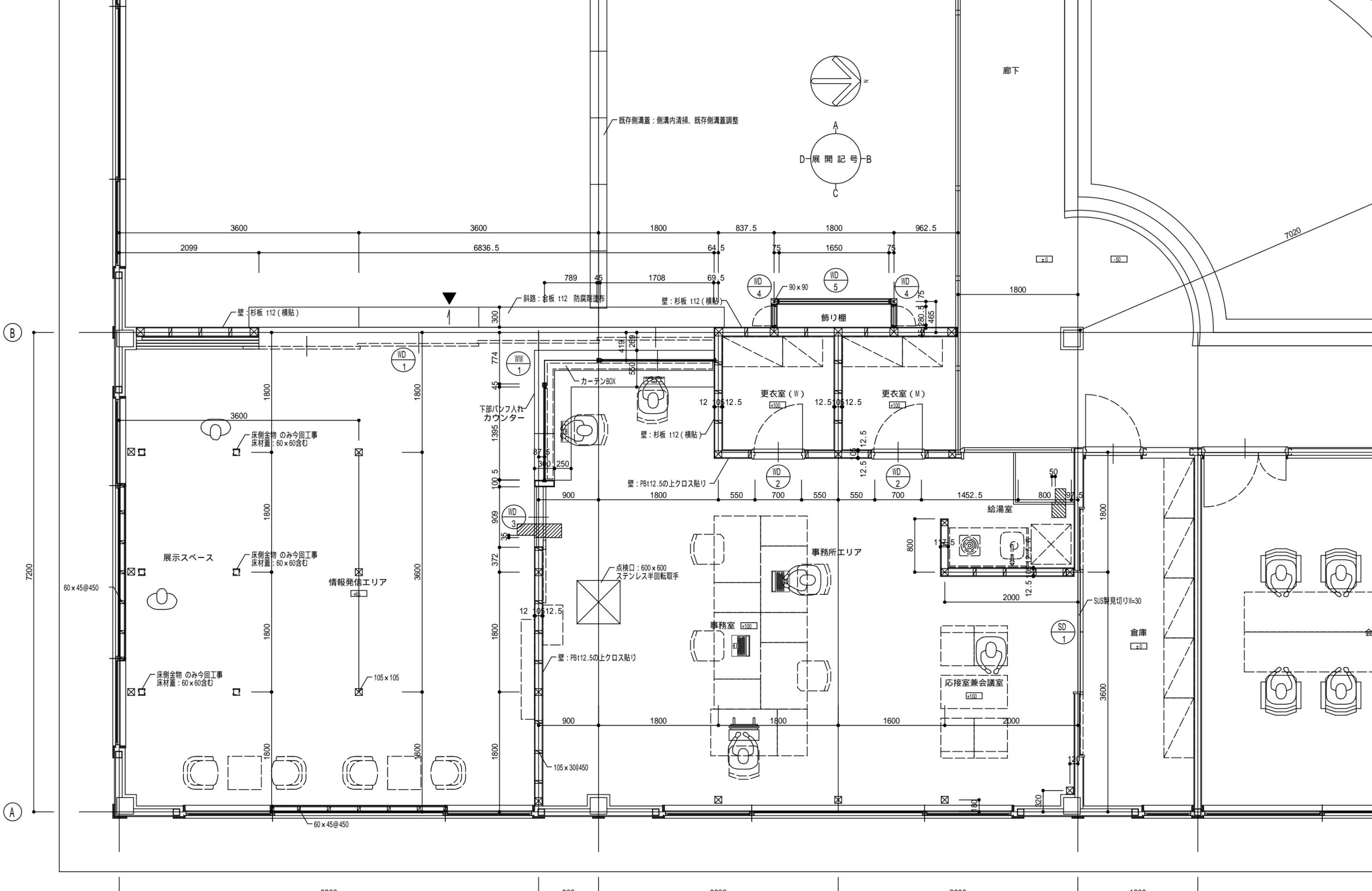
仕 上 表

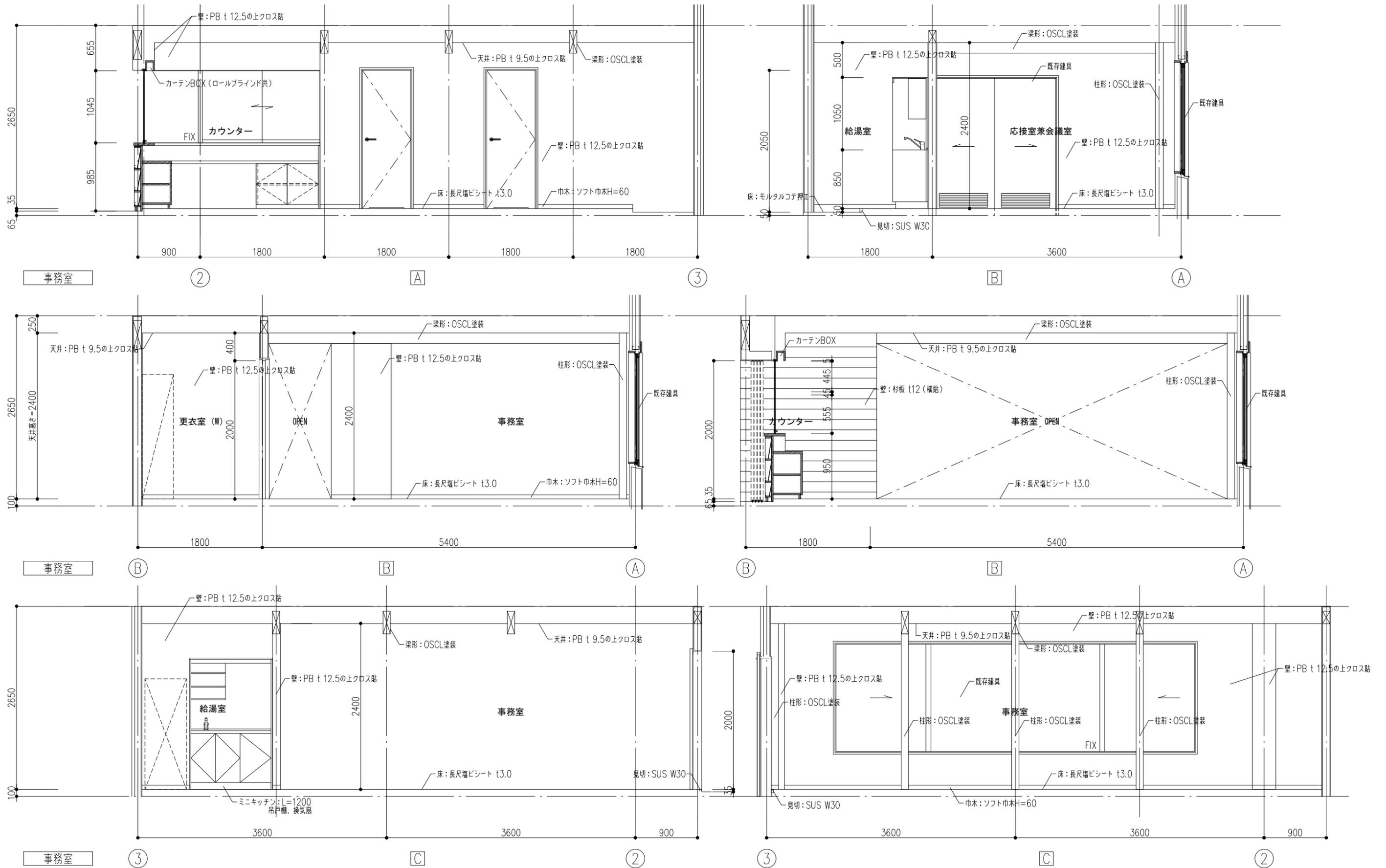
室 名	床 高	床	仕上厚	巾 木	高さ	壁	廻り縁	天 井	天 井 高	備 考
1階 事務室	+100	乾式二重床 パーティクルボード t20+合板下地 t12 長尺塩ビシート t3	3	ソフト巾木	60	プラスターボード t 12.5の上クロス貼	-	プラスターボード t 9.5の上クロス貼	2400	カウンター SUS製上カマチ W=30、SUS製床見切り W=30
応接室兼会議室	+100	乾式二重床 パーティクルボード t20+合板下地 t12 長尺塩ビシート t3	3	ソフト巾木	60	プラスターボード t 12.5の上クロス貼	-	プラスターボード t 9.5の上クロス貼	2400	
給湯室	+100	乾式二重床 パーティクルボード t20+合板下地 t12 長尺塩ビシート t3	3	ソフト巾木	60	プラスターボード t 12.5の上クロス貼	-	プラスターボード t 9.5の上クロス貼	2400	ミニキッチン L=1200(電気温水器、換気扇付) SUS製床見切り W=30
更衣室(W)	+100	乾式二重床 パーティクルボード t20+合板下地 t12 長尺塩ビシート t3	3	ソフト巾木	60	プラスターボード t 12.5の上クロス貼	-	プラスターボード t 9.5の上クロス貼	2400	
更衣室(M)	+100	乾式二重床 パーティクルボード t20+合板下地 t12 長尺塩ビシート t3	3	ソフト巾木	60	プラスターボード t 12.5の上クロス貼	-	プラスターボード t 9.5の上クロス貼	2400	
情報発信エリア	+65	こらばし根太35×35@300 合板下地 t15 杉板 t15鏡目古色塗装	15	-		プラスターボード t 12.5の上EP塗装	-	プラスターボード t 9.5の上EP塗装	2435	窓塞ぎ
展示スペース	+65	こらばし根太35×35@300 合板下地 t15 杉板 t15鏡目古色塗装	15	-		プラスターボード t 12.5の上EP塗装	-	プラスターボード t 9.5の上EP塗装	2435	窓塞ぎ
まちなか映画館	±0	既存タイルのまま				既合板のまま		既合板のまま		
OP	油性調合ペイント塗り		EP	合成樹脂エマルジョン(アクリル系)塗り		CL	クリアーラッカー塗り		MP	多彩模様塗料塗り
SOP	合成樹脂調合ペイント塗り		OS	オイルステイン塗り		LE	ラッカーエナメル塗り		AP	アクリル樹脂エナメル塗り
VP	塩化ビニル樹脂エナメル塗り		OSW	オイルステイン拭き取り		FP	フタル酸樹脂エナメル塗り			



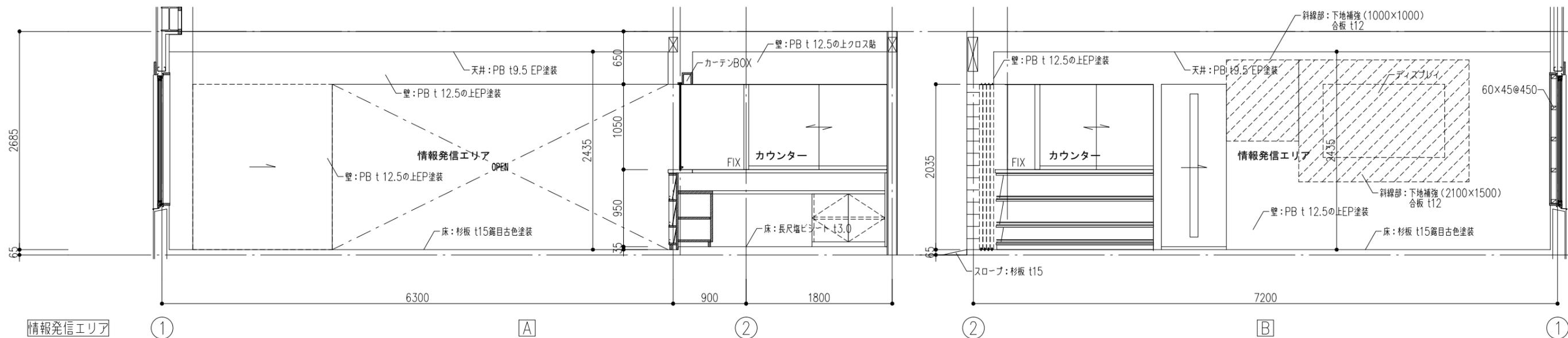
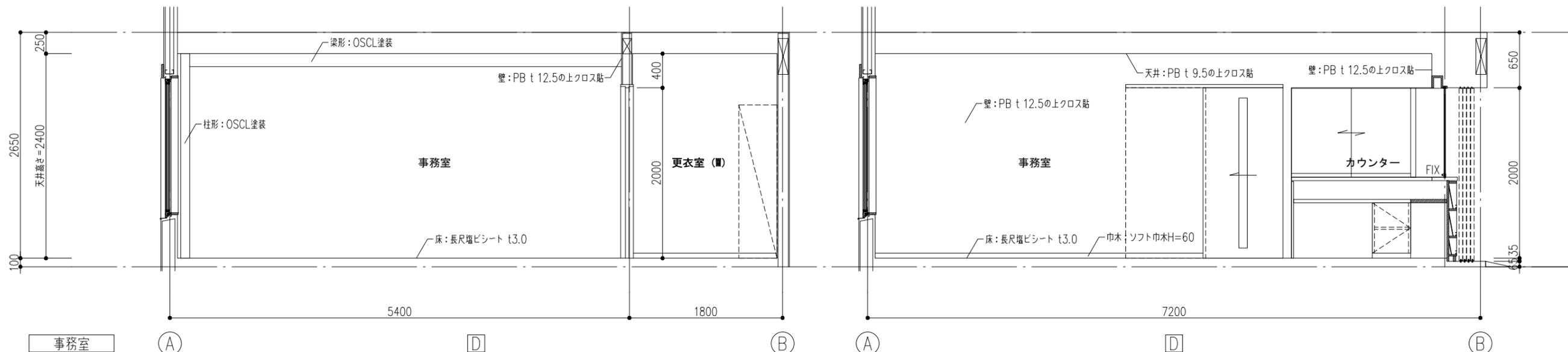
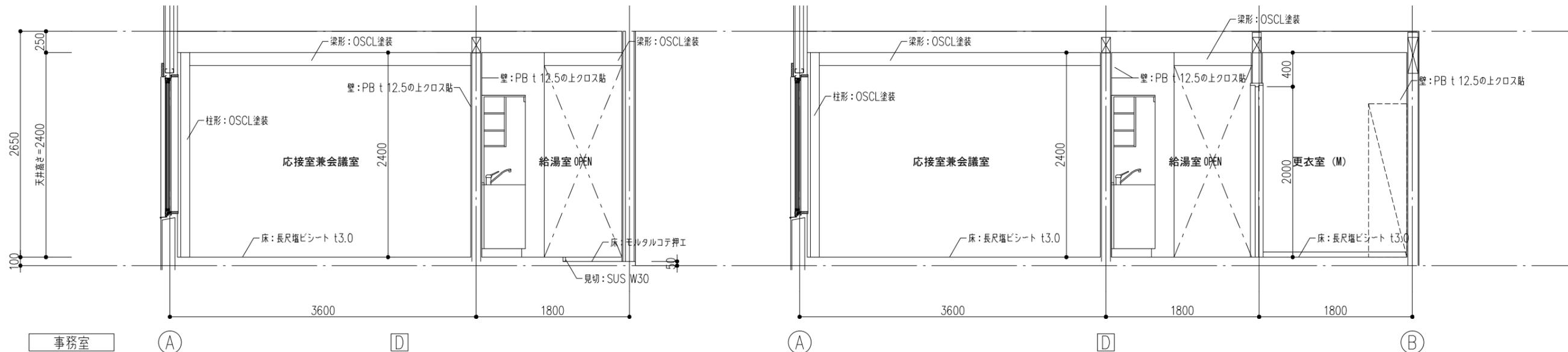
1階平面図 1:100

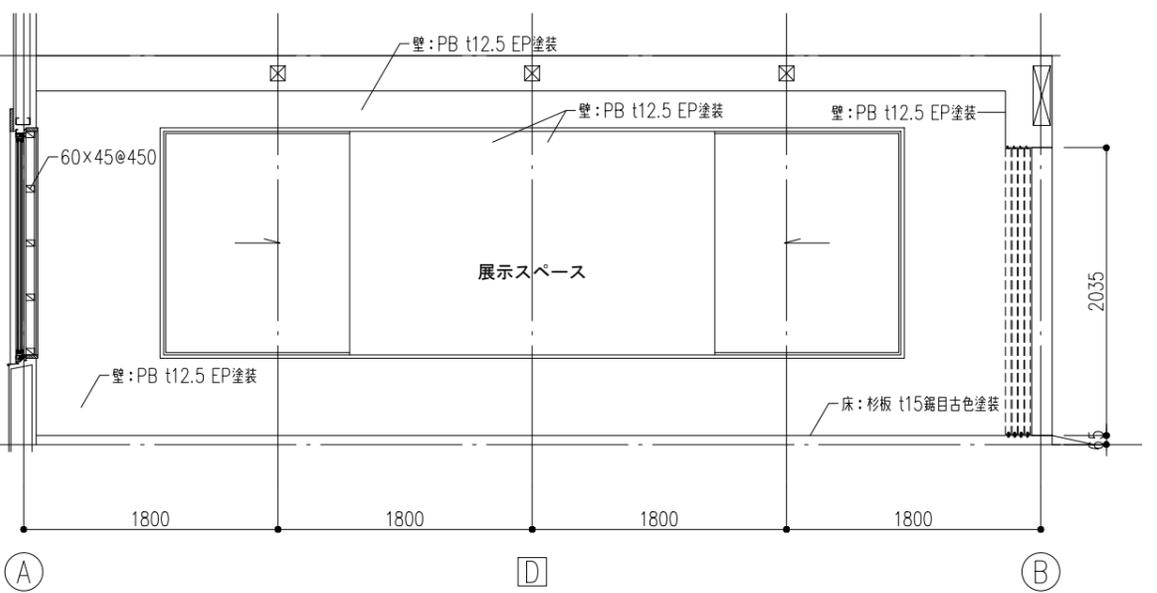
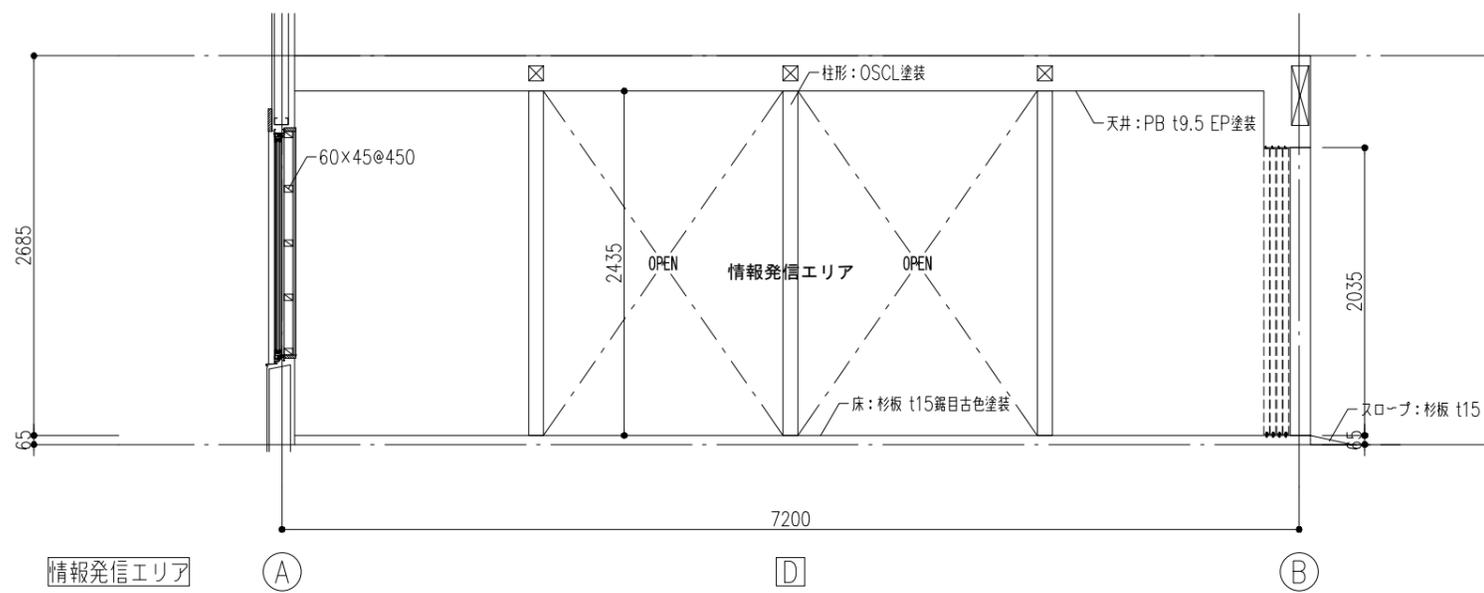
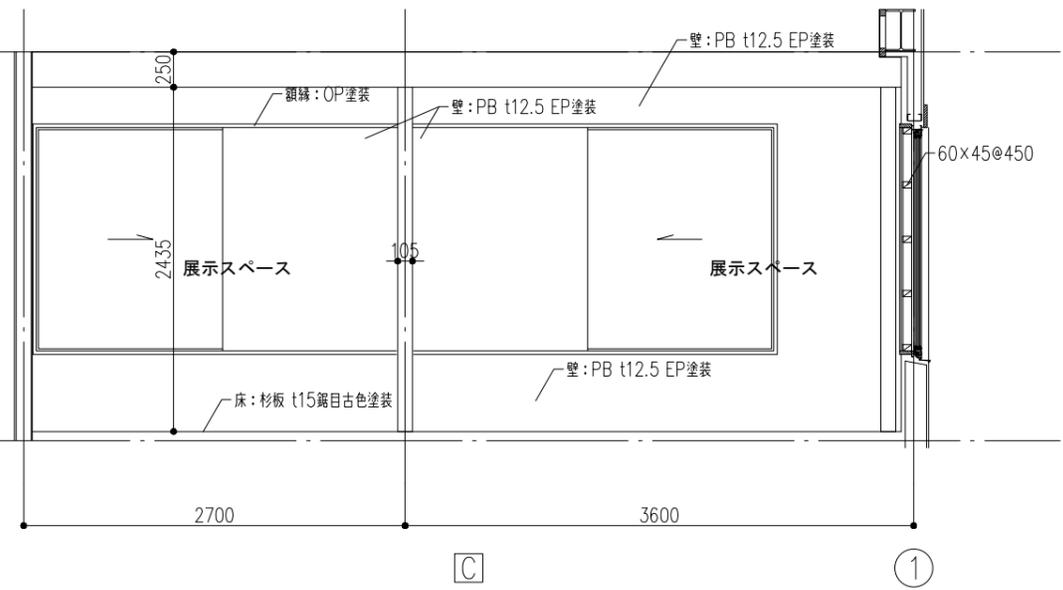
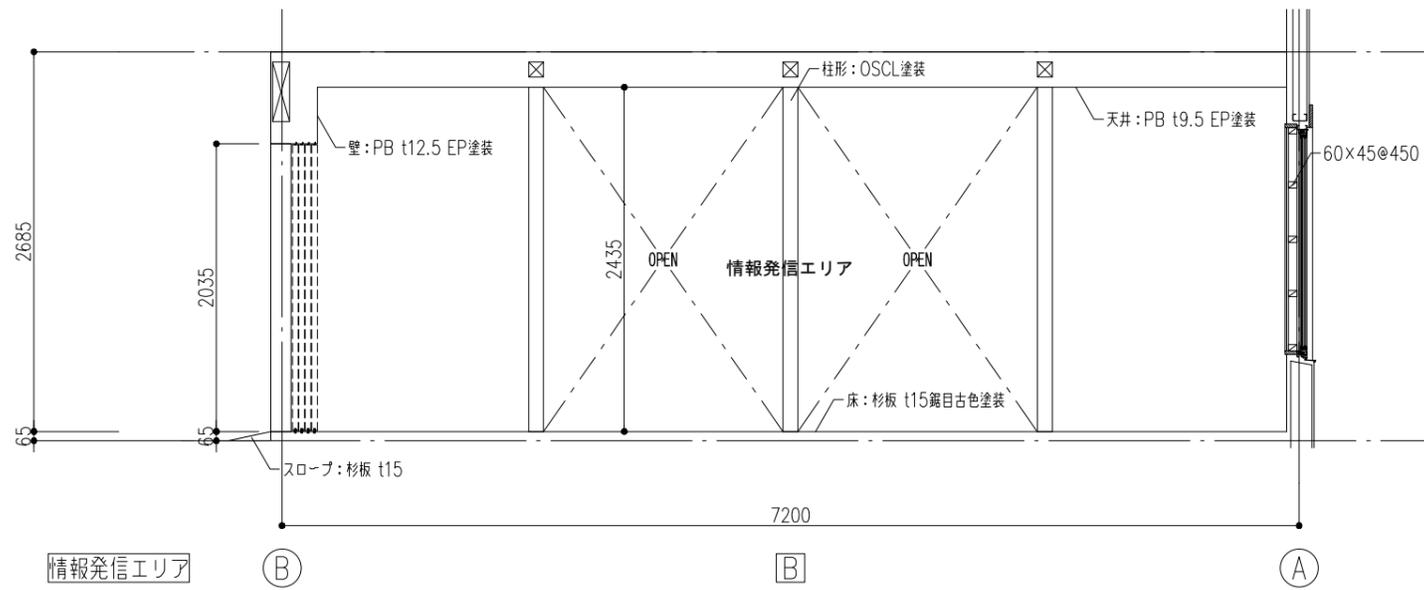
桐村東建築設計事務所 AZUMA KIRIMURA ARCHITECT & ASSOCIATES		PROJECT NO 京丹波町ロケーションオフィス事務所整備事業	平面図	建築
DRAWN BY	CHECKED BY	DATE H29.07.31	SCALE 1:100	A-12

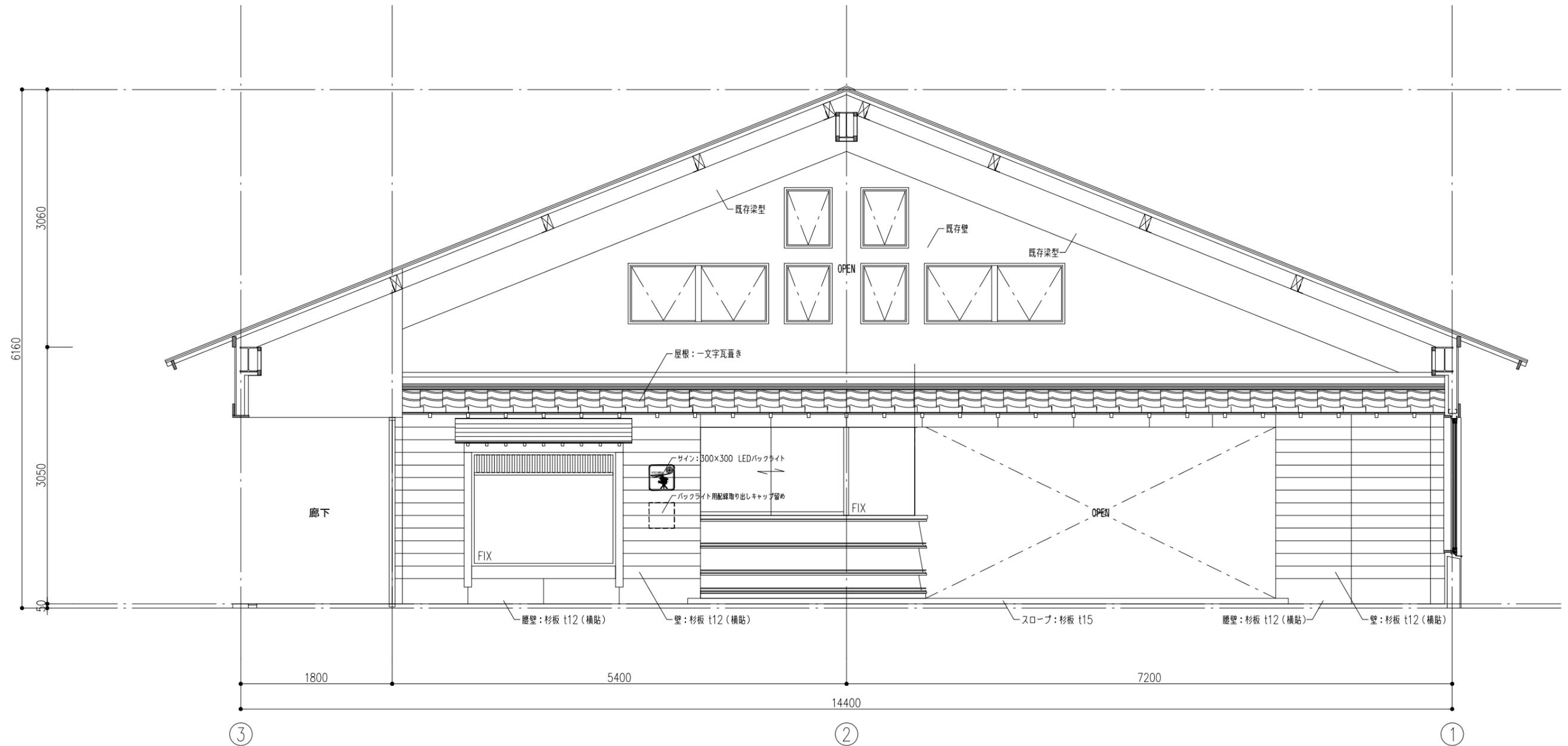




桐村東建築設計事務所 AZUMA KIRIMURA ARCHITECT & ASSOCIATES		PROJECT NO 京丹波町ロケーションオフィス事務所整備事業	展開図(1)	建築
DRAWN BY	CHECKED BY	DATE H29.07.31	SCALE 1:50	A-14



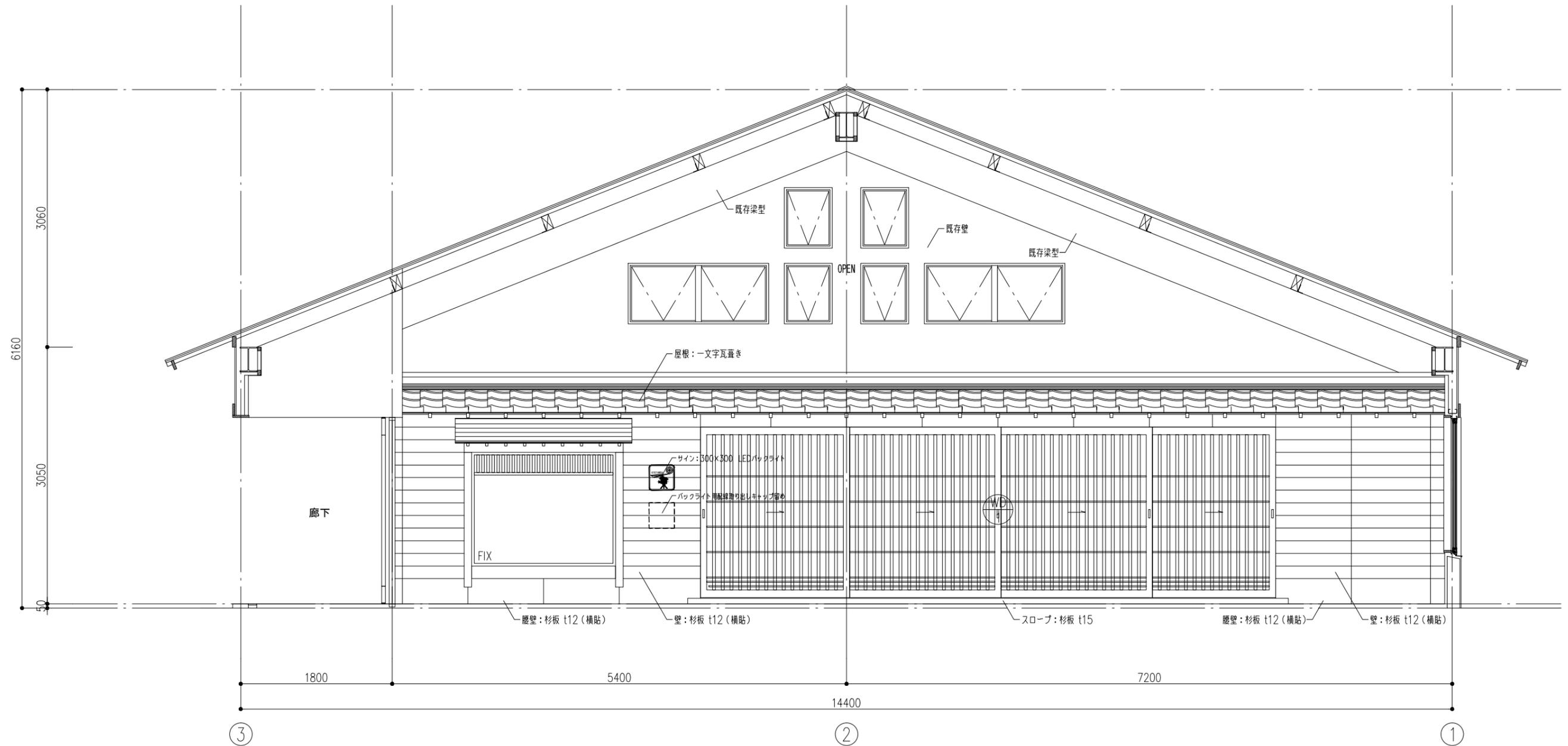




東面内観図 1:50

※ 特記無き限り見え掛り木部：OSCL塗装

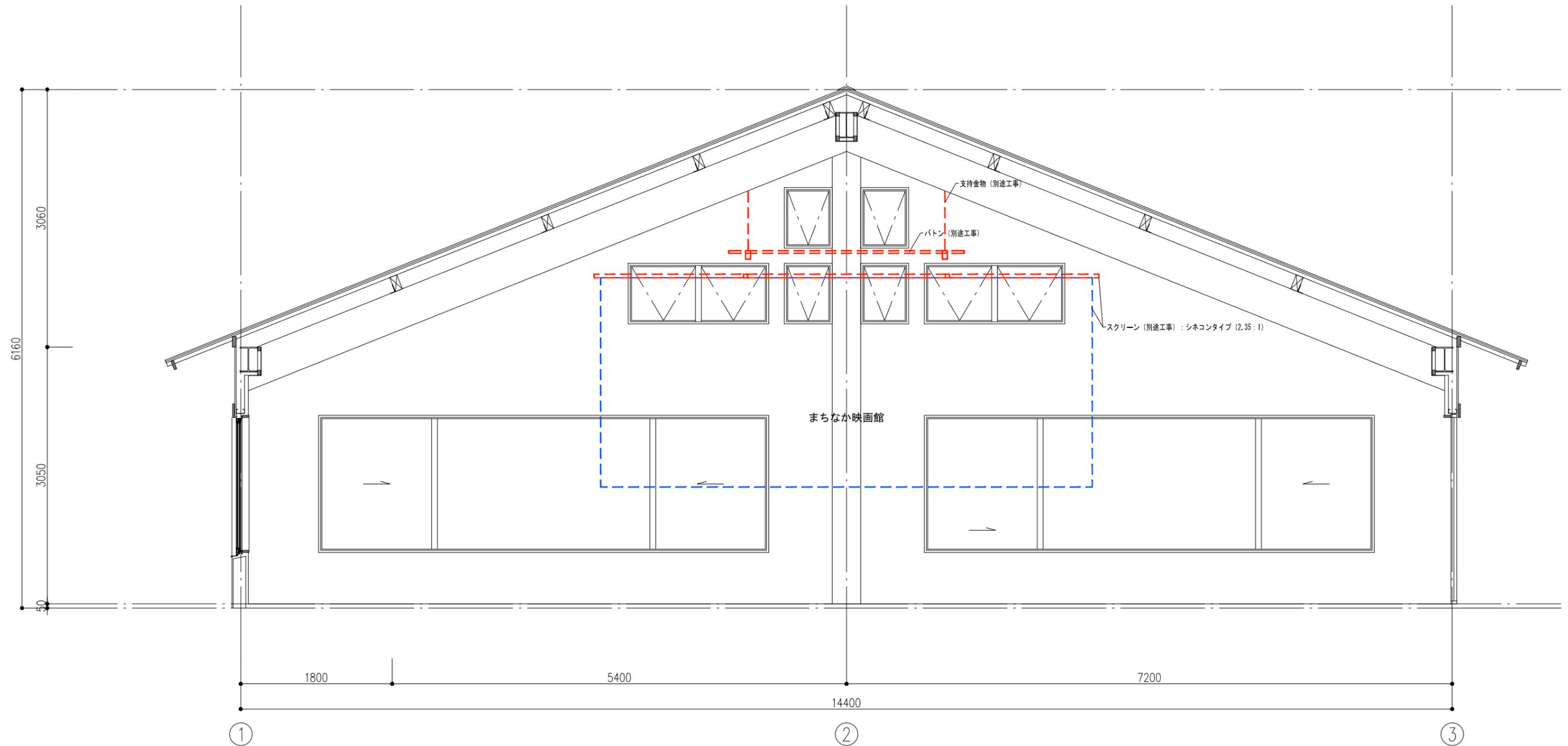
桐村東建築設計事務所 AZUMA KIRIMURA ARCHITECT & ASSOCIATES		PROJECT NO 京丹波町ロケーションオフィス事務所整備事業	展開図(4)	建築
DRAWN BY	CHECKED BY	DATE H29.07.31	SCALE 1:50	A-17



東面内観図 1:50

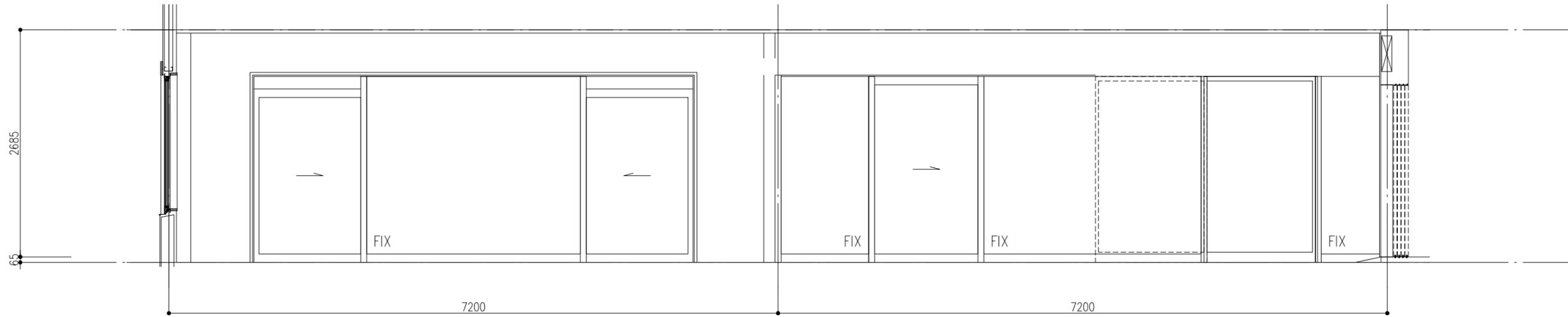
※ 特記無き限り見え掛り木部: OSCL塗装

		PROJECT NO 京丹波町ロケーションオフィス事務所整備事業		展開図(5)		建築	
桐村東建築設計事務所 AZUMA KIRIMURA ARCHITECT & ASSOCIATES		DRAWN BY	CHECKED BY	DATE H29.07.31	SCALE 1:50	A-18	

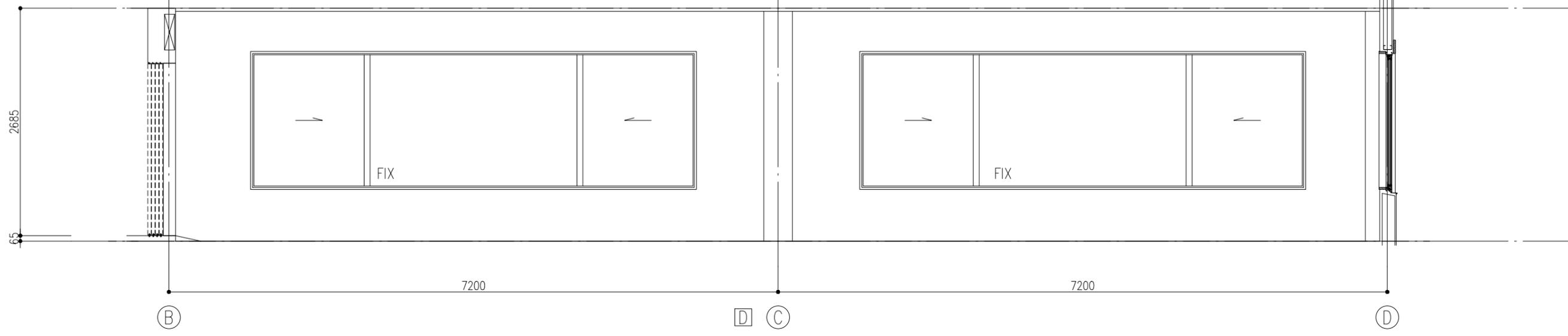


西面内観図 1:50

桐村東建築設計事務所 AZUMA KIRIMURA ARCHITECT & ASSOCIATES		PROJECT NO 京丹波町ロケーションオフィス事務所整備事業	展開図(6)	建築
DRAWN BY	CHECKED BY	DATE H29.07.31	SCALE 1:50	A-19

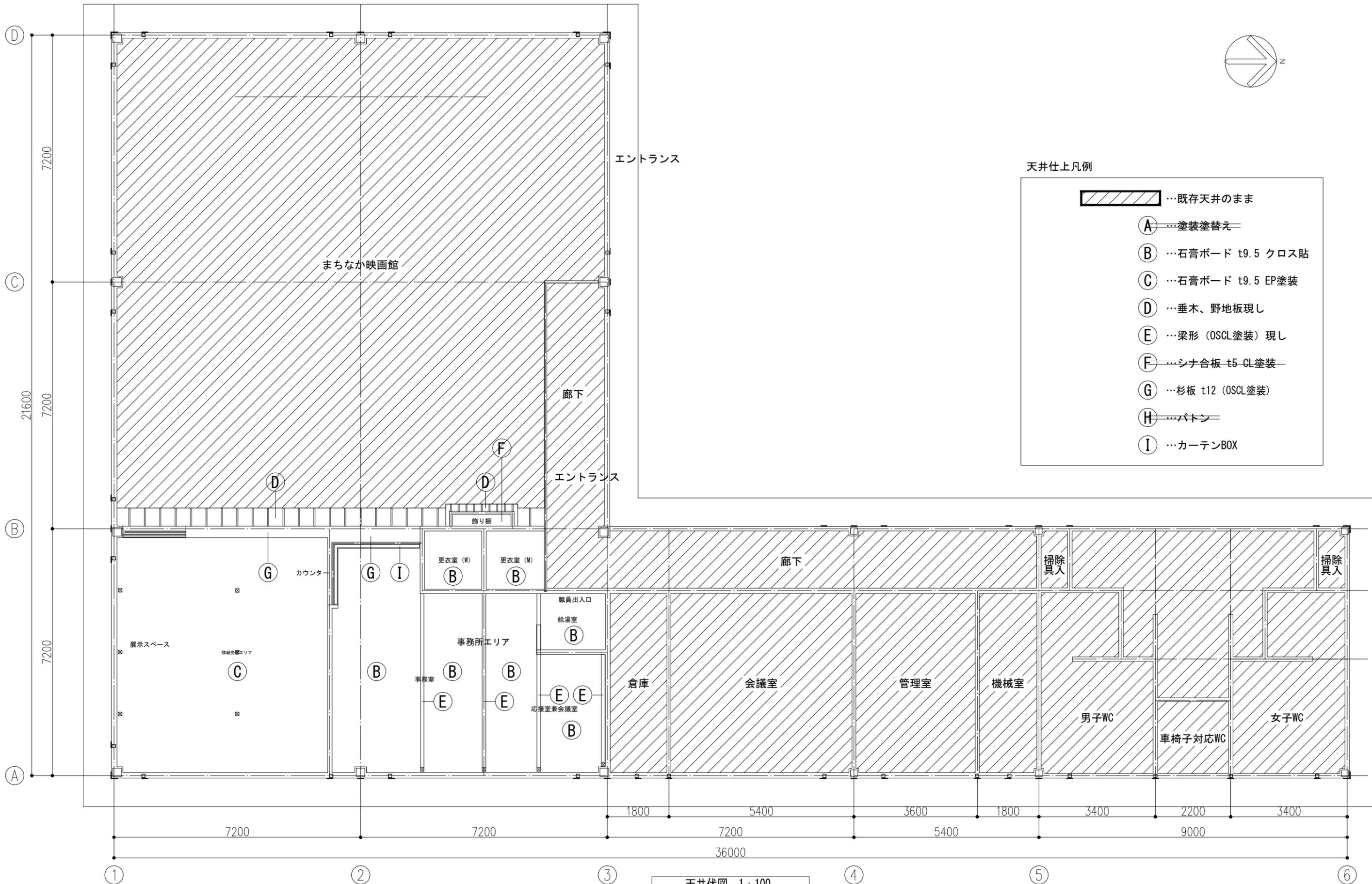
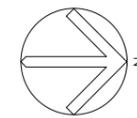


ほちなか映画館



		PROJECT NO 京丹波町ロケーションオフィス事務所整備事業		展開図(7)		建築	
桐村東建築設計事務所 AZUMA KIRIMURA ARCHITECT & ASSOCIATES		DRAWN BY	CHECKED BY	DATE H29.07.31	SCALE 1:50	A-20	

<p>凡例</p> <p>1 記号</p> <p>■ 扉 SFD 防火扉 SD 鋼製扉 STD ステンレス製扉 LSD 軽量鋼製扉 ALD アルミ製扉 TD 強化ガラス扉 WD 木製扉</p> <p>■ 窓 ALW アルミ製窓 STW ステンレス製窓 SW 鋼製窓 WW 木製窓</p> <p>■ ガラリ・シャッター ALG アルミ製ガラリ SG 鋼製ガラリ SS シャッター OS オーバースライダー</p> <p>■ その他 F よすま子 S 障子</p> <p>2 性能 (性能は全て特記する) ■ 防火扉は法規の性能表示 <input type="checkbox"/> 特定防火設備 <input type="checkbox"/> 防火設備 <input type="checkbox"/> 防火戸 <input type="checkbox"/> 防火・防煙シャッター <input type="checkbox"/> FD付(防火ダンパー)</p> <p>■ 防火戸制御 <input type="checkbox"/> 埋蔵制御 <input type="checkbox"/> 埋蔵制御 <input type="checkbox"/> 熱感知器連動制御</p> <p>■ その他 <input type="checkbox"/> 気密扉 (1794・1794f) <input type="checkbox"/> 防音扉・遮音扉 <input type="checkbox"/> 断熱扉</p> <p>3 枠 A } B } C } D } E } ビルトイン F }</p> <p>4 番 A } B } 目地線 C } D } E } F } G } H }</p> <p>5 ガラリ A } B } C } D } E } アンダーカット F }</p> <p>6 支持金物 T 蝶番 (埋込み蝶番・埋込み蝶番は特記する) PH ビット・ヒンジ AH オート・ヒンジ FH フロア・ヒンジ LH ラバトリー・ヒンジ</p> <p>7 錠 DL 本締め錠 IL 本締め錠 ML 円錠 N 空気錠 EL 電気錠 L 非常時錠 HL 水錠 BL 分電錠 FL 表示錠 KL 鍵錠</p> <p>8 雑金物 ■ クローザー他 <input type="checkbox"/> ドアチェック(標準・カレル型) <input type="checkbox"/> コンシールド型 ドアチェック <input type="checkbox"/> フランス用 <input type="checkbox"/> ロックバー [有・無] <input type="checkbox"/> 扉位置調整 <input type="checkbox"/> おおりのり</p> <p>■ 棒玉 (特記なし棒玉とし 特記品は特記する) <input type="checkbox"/> レバーハンドル <input type="checkbox"/> グレモンハンドル <input type="checkbox"/> 押棒・引棒 <input type="checkbox"/> 押板 <input type="checkbox"/> 引き手</p>	1	記号	AD 1	AD 2	SD 1	WW1 1	
	2	種類	アルミ製エンジン内蔵自動扉 アルミ陽極酸化複合皮膜	FIX窓付きアルミ片開き扉 アルミ陽極酸化複合皮膜		鋼製面引分扉(既存建具)	FIX窓付き違い窓
	3	性能					
	4	数量	1	1		1	1
	5	取付箇所	まちなか映画館	職員出入口		倉庫	事務室
	6	形状・寸法					
	7	枠・見込	[D] 見込70	[A] 見込109			[D] 見込24(26.6)
	8	沓摺	—	ステンレスHL t2.0		ステンレスレール	カウンター視線下レールステンレスHL t0.8
	9	水切	—	—		—	—
	10	額縁	アルミ陽極酸化複合皮膜	アルミ陽極酸化複合皮膜		—	—
	11	ガラス	透明フロートガラス t8.0	透明フロートガラス t8.0		—	透明フロートガラス t5.0
	12	ガラリ	—	—		[C]	—
	13	支持金物	ステンレス戸車	丁番		戸車	ステンレス取付ベアリング
	14	錠	シリンダー錠	シリンダー錠、サムターン		シリンダー錠	プッシュロック錠
	15	雑金物	エンジン、衝突防止シート(900x300)、館銘文字ロゴシート貼	レバーハンドル、ドアクローザー、遮光シート貼り、		押棒	ステンレス防虫上レール、引手破損防止
	16	特記	付属金物一式	付属金物一式		既存建具の改修	
1	記号	WD 1	WD 2	WD 3	WD 4	WD 5	
2	種類	木製4枚片引き扉 木製OSCL塗装	木製フラッシュ片開き扉 シナ合板塗装拭きとり	ガラス窓付き木製フラッシュ片引き扉 シナ合板塗装拭きとり	ガラス窓付き木製片開き扉 木製OSCL塗装	木製ハメ殺し窓 木製OSCL塗装	
3	性能						
4	数量	1	2	1	2	1	
5	取付箇所	情報発信エリア、事務所エリア	更衣室(W)、(M)	事務室	飾り棚	飾り棚	
6	形状・寸法						
7	枠・見込	—	[A] 見込150	—	[B] 見込60	[D] 見込60	
8	沓摺	シンチュウ製V型レール	—	シンチュウ製V型レール	—	—	
9	水切	—	—	—	—	—	
10	額縁	—	木製OSCL塗装	—	—	—	
11	ガラス	—	—	型板ガラス t4.0	透明フロートガラス t5.0(飛散防止フィルム貼り)	透明フロートガラス t5.0(飛散防止フィルム貼り)	
12	ガラリ	—	アンダーカット	—	—	—	
13	支持金物	ナイロン戸車	丁番	ナイロン戸車	丁番	—	
14	錠	シリンダー錠	シリンダー錠、サムターン	引戸用錠錠、サムターン	シリンダー錠(黒色)	—	
15	雑金物	シンチュウ色彫り込み引手、付属金物一式	レバーハンドル、ドアクローザー、付属金物一式	シンチュウ色彫り込み引手	埋込み取手(黒色)	—	
16	特記	—	—	—	—	木製格子: OSCL 塗装	
共通		<p>① 建具表に記載なき項目は特記仕様書、又は、標準仕様書による。</p> <p>② 開口寸法(W×H)は、内法有効寸法とする。</p> <p>③ 扉の見込は特記のない限り、鋼製は 40mmとし、木製は 40mmとする。</p> <p>④ 窓枠には結露受けを設ける。</p> <p>⑤ 塗装は特記のない限り、鋼製はフッ素焼付塗装とし、木製はOS塗装とする。</p> <p>⑥ 建具金物は特記のない限り、ステンレス製とし、見本品により決定する。</p>		<p>⑦ 取手は、特記のない限り、バックセット 76mmとし、高さは床上 1000mmとする。</p> <p>⑧ 錠は、特記のない限り、マスターキー付とする。</p> <p>⑨ 建具取付位置・ドアチェック取付位置は、建具案内図等による。</p> <p>⑩ 鋼製防錆処理は特記の無い限りボンデ鋼板ジクロロメート処理とする。及び鋼板厚さ 1.6 とする。</p> <p>⑪ ステンレス曲加工は、角出しとする。</p> <p>⑫ 外部ガラス押えは、特記のない限り、シリコーン系シーリングとする。</p>		<p>⑬ ハメ殺しサッシは、結露受付とする。</p>	

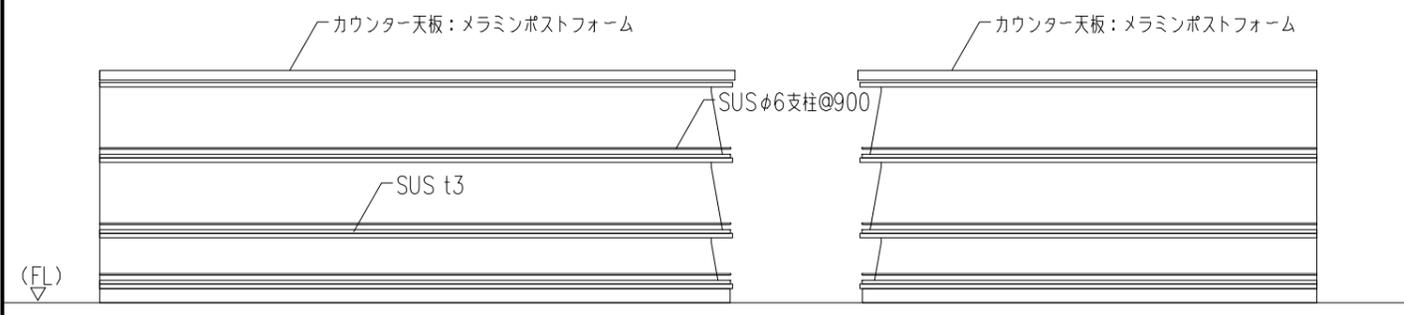


天井仕上凡例

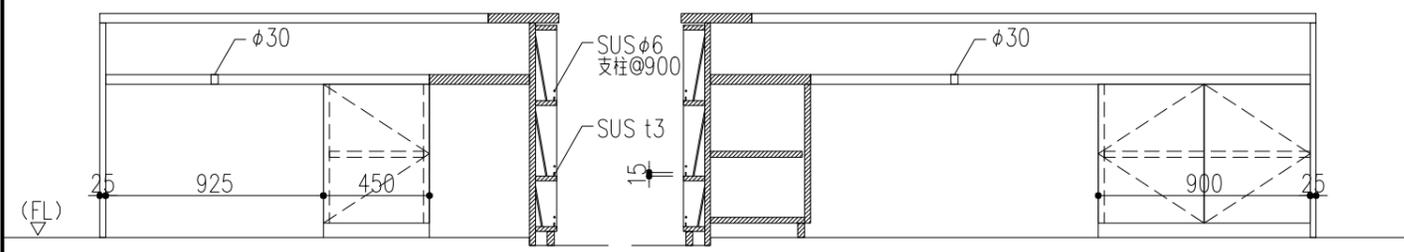
- ...既存天井のまま
- A** ...塗装塗替え
- B** ...石膏ボード t9.5 クロス貼
- C** ...石膏ボード t9.5 EP塗装
- D** ...垂木、野地板現し
- E** ...梁形 (OSCL塗装) 現し
- F** ...シナ合板 t5 CL塗装
- G** ...杉板 t12 (OSCL塗装)
- H** ...バトン
- I** ...カーテンBOX

天井伏図 1:100

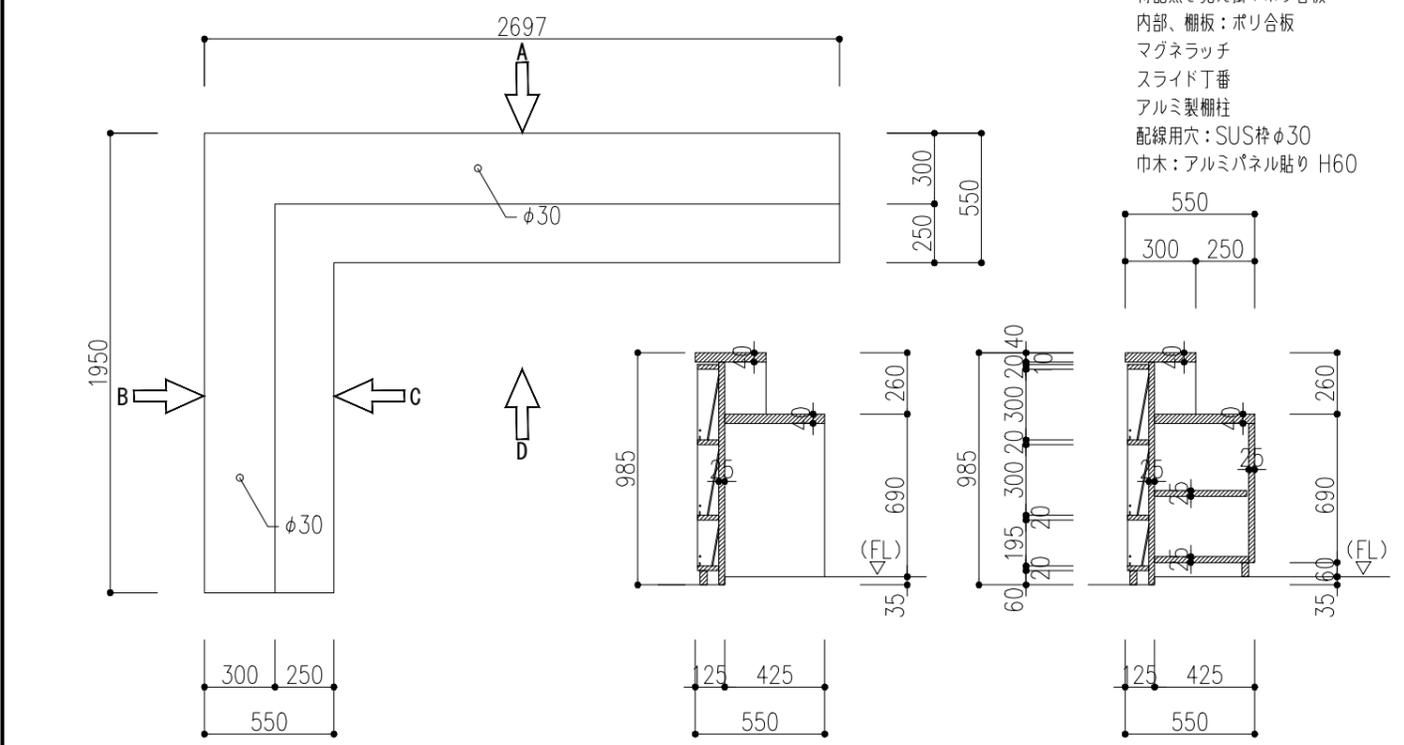
a 事務所カウンター 1:30



A 側面図 1:30 B 側面図 1:30

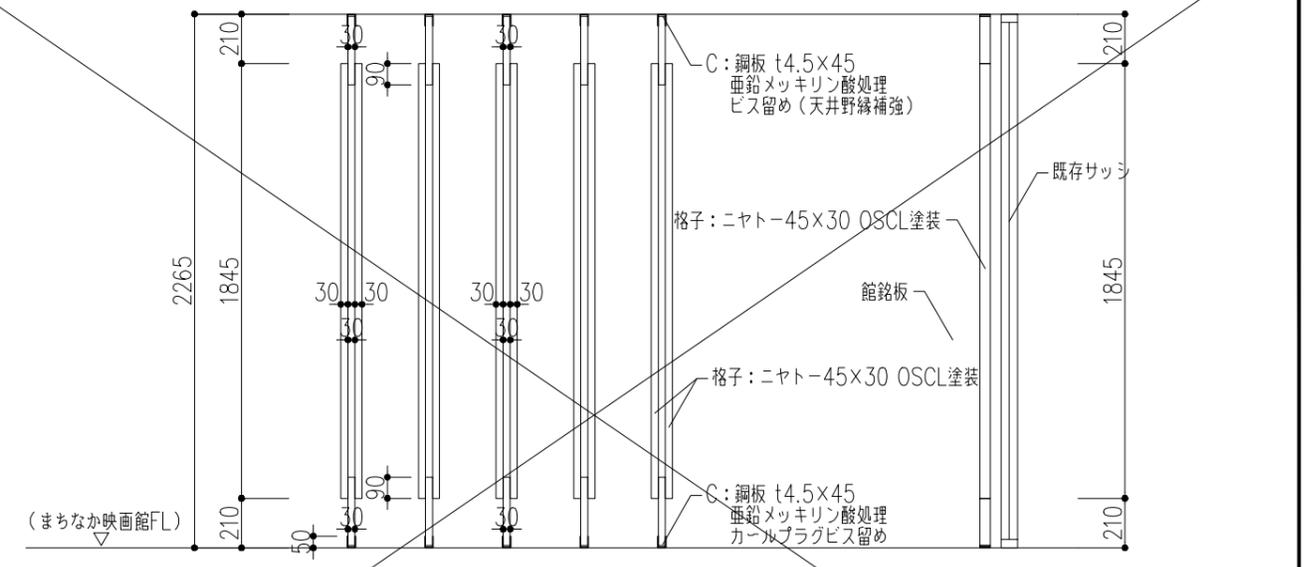


C 側面図 1:30 D 側面図 1:30

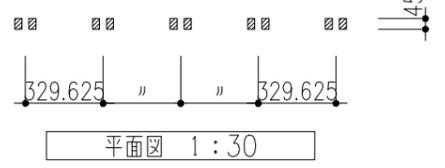


平面図 1:30 断面図 1:30

b 木製化粧格子 1:30



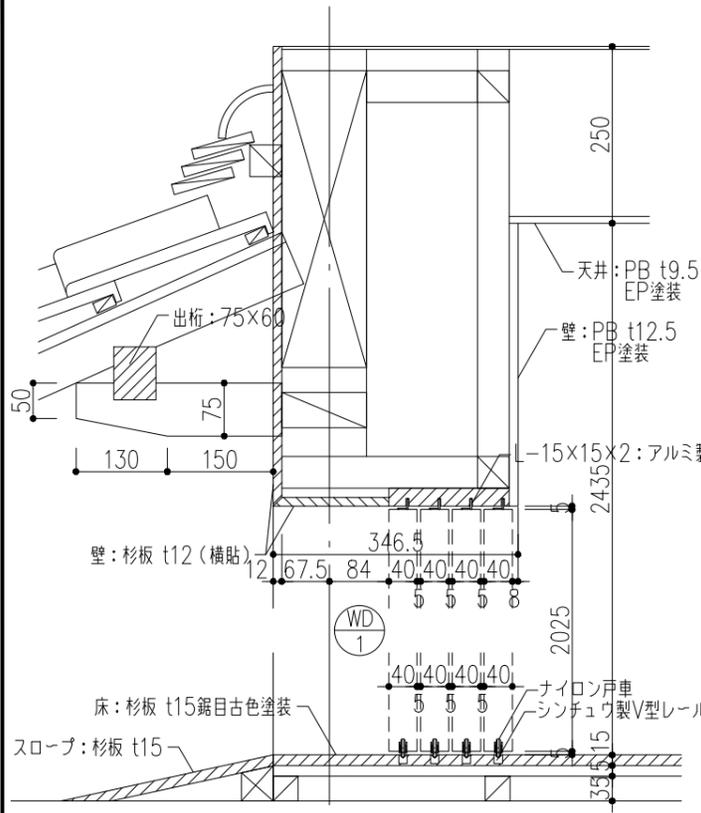
正面図 1:30 断面図 1:30



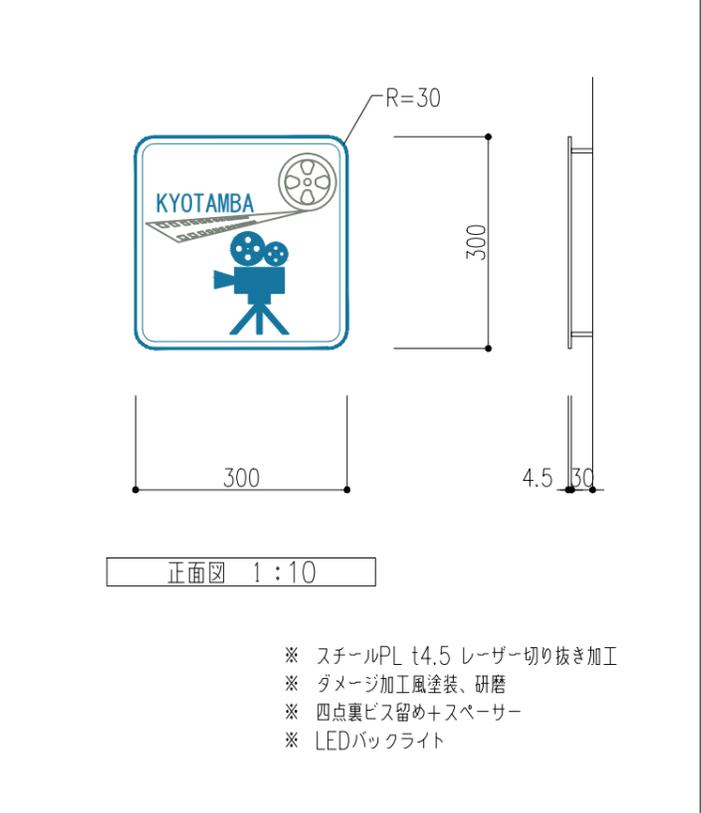
c



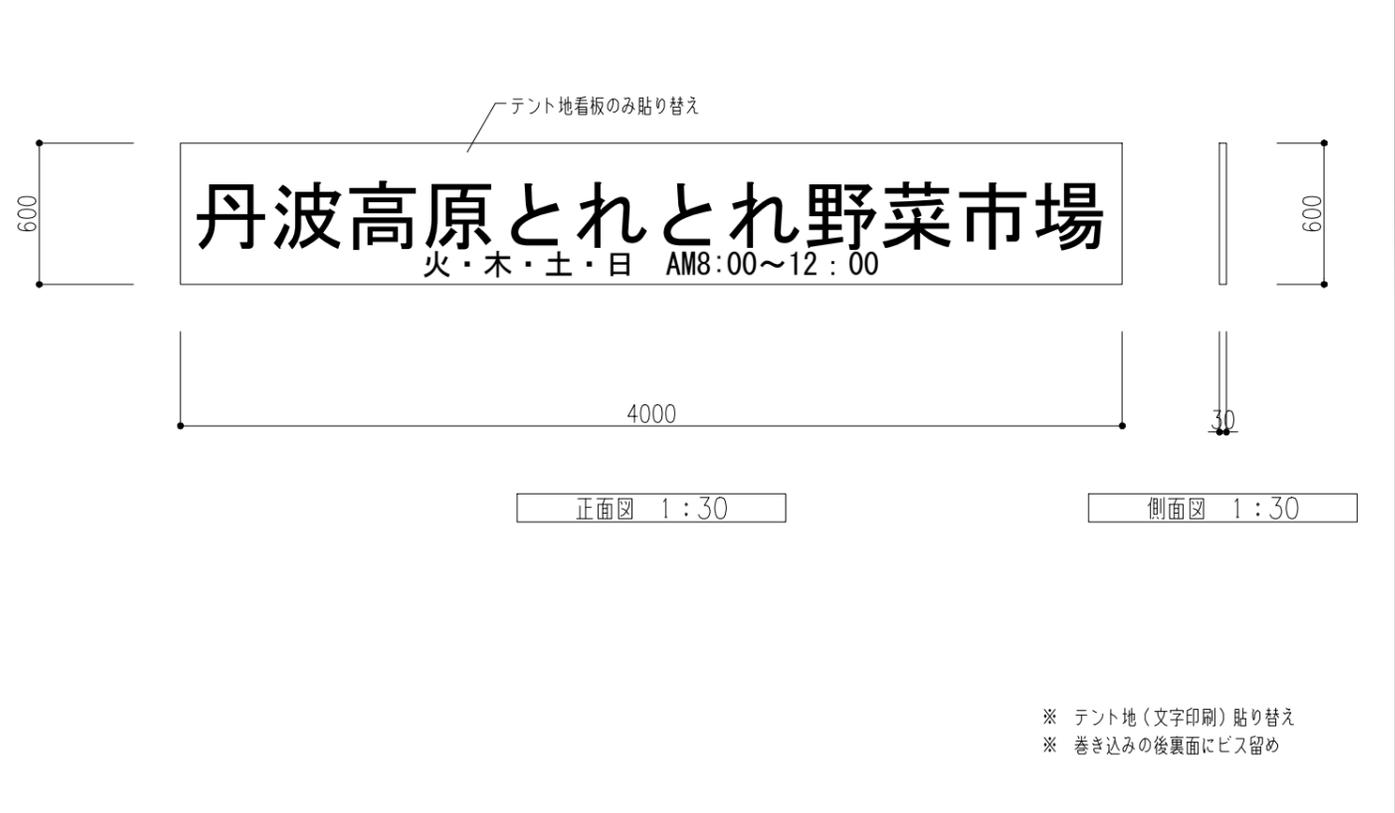
e 建具詳細図 1:10



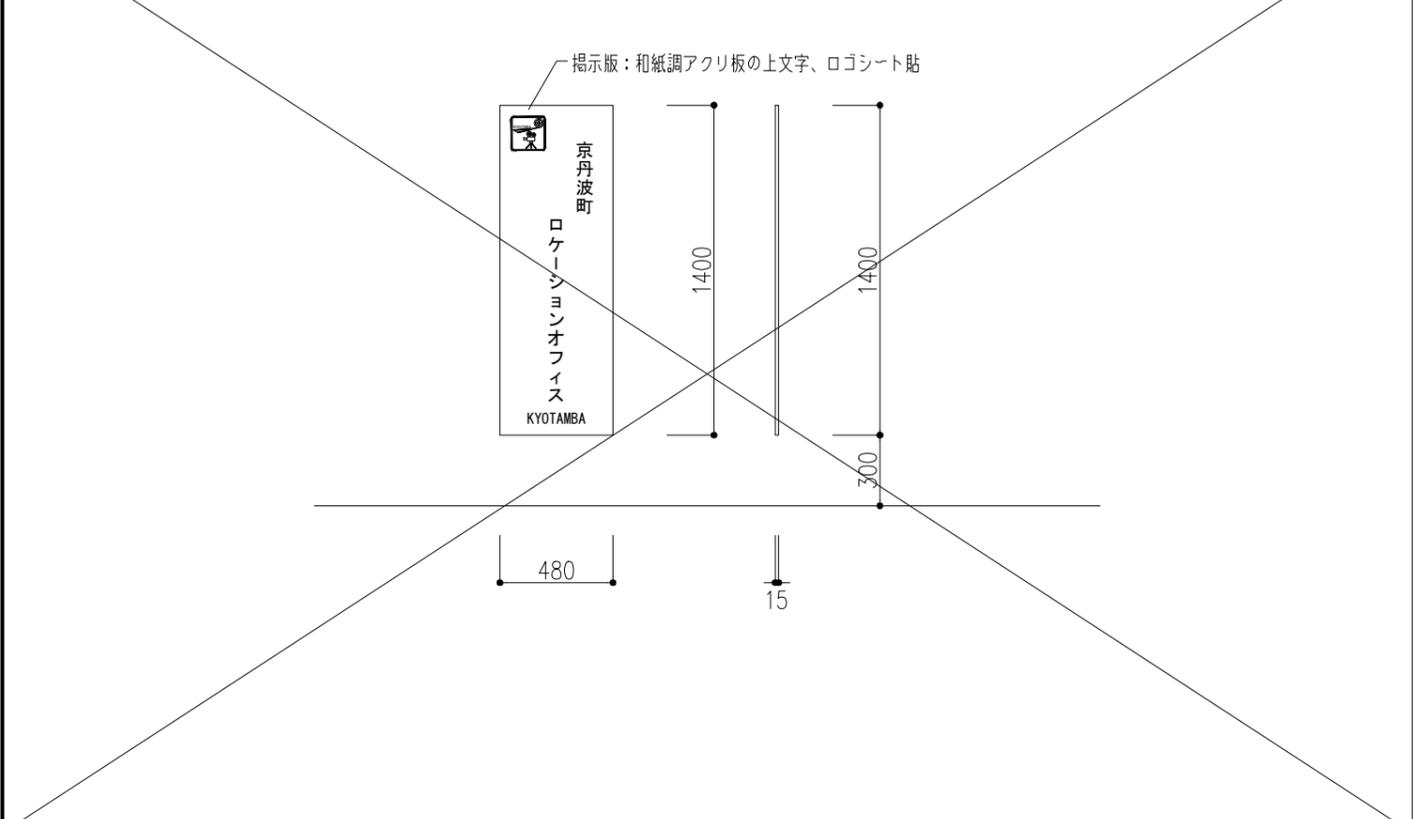
f ロゴサイン 1:10



g 掛け看板 (テント地看板) 1:30

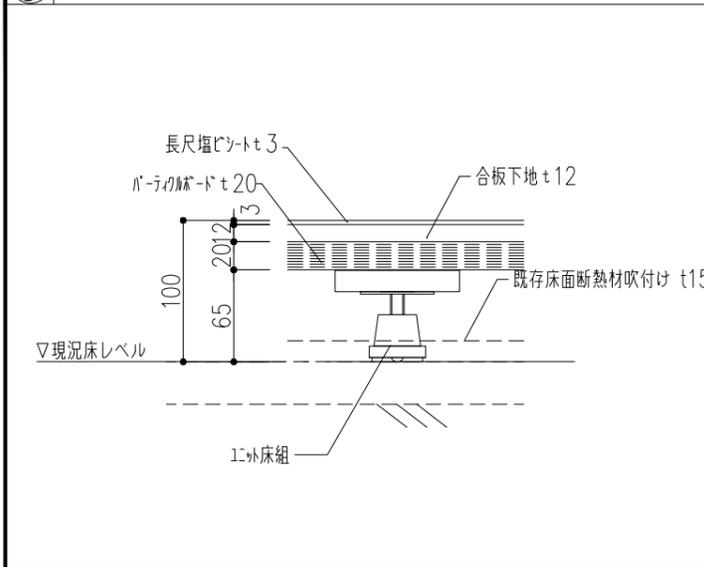


h 掲示版 1:30

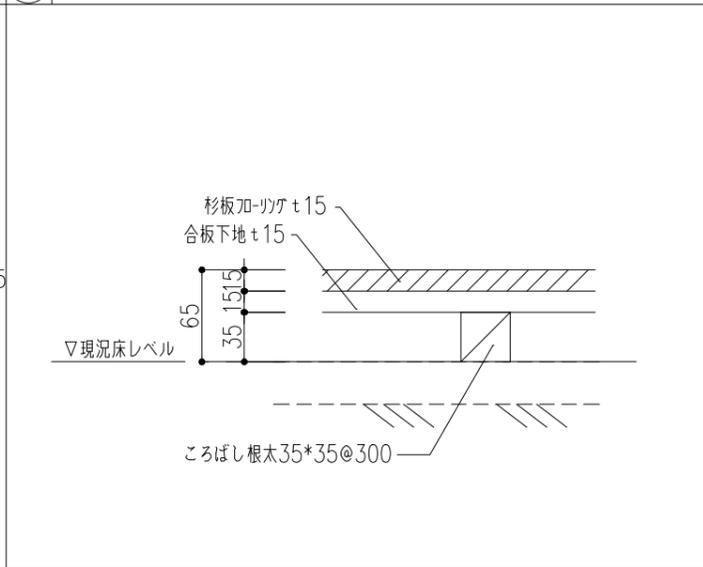


i

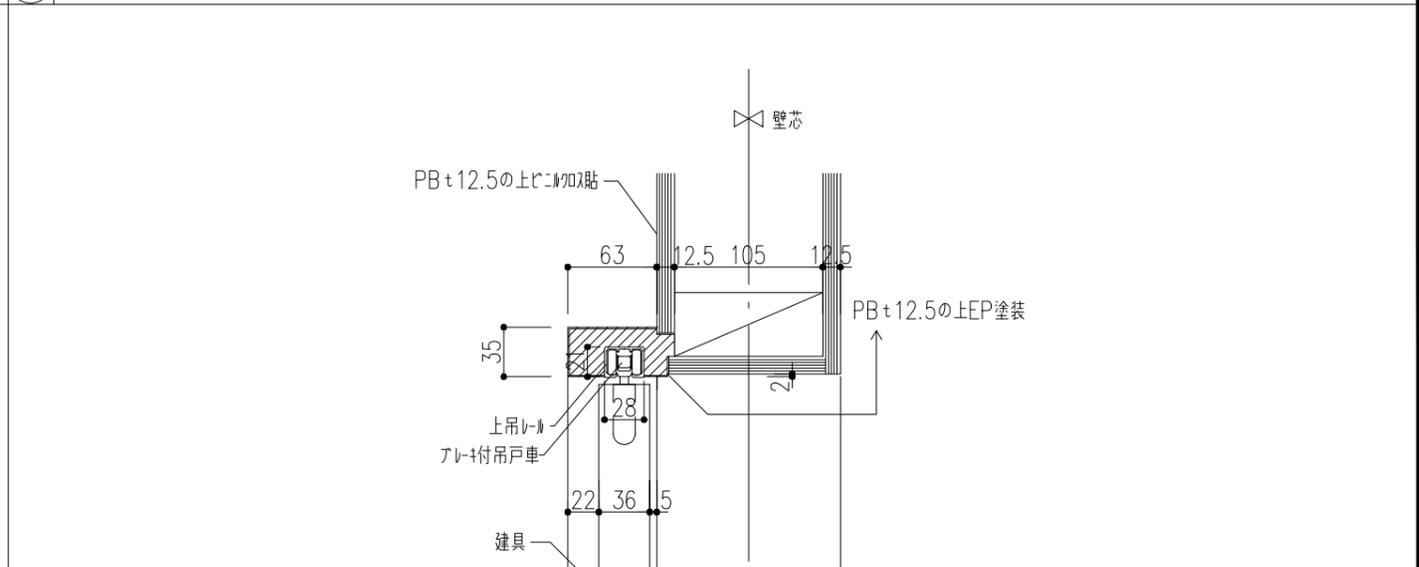
j 事務室床仕上げ詳細図 1:5



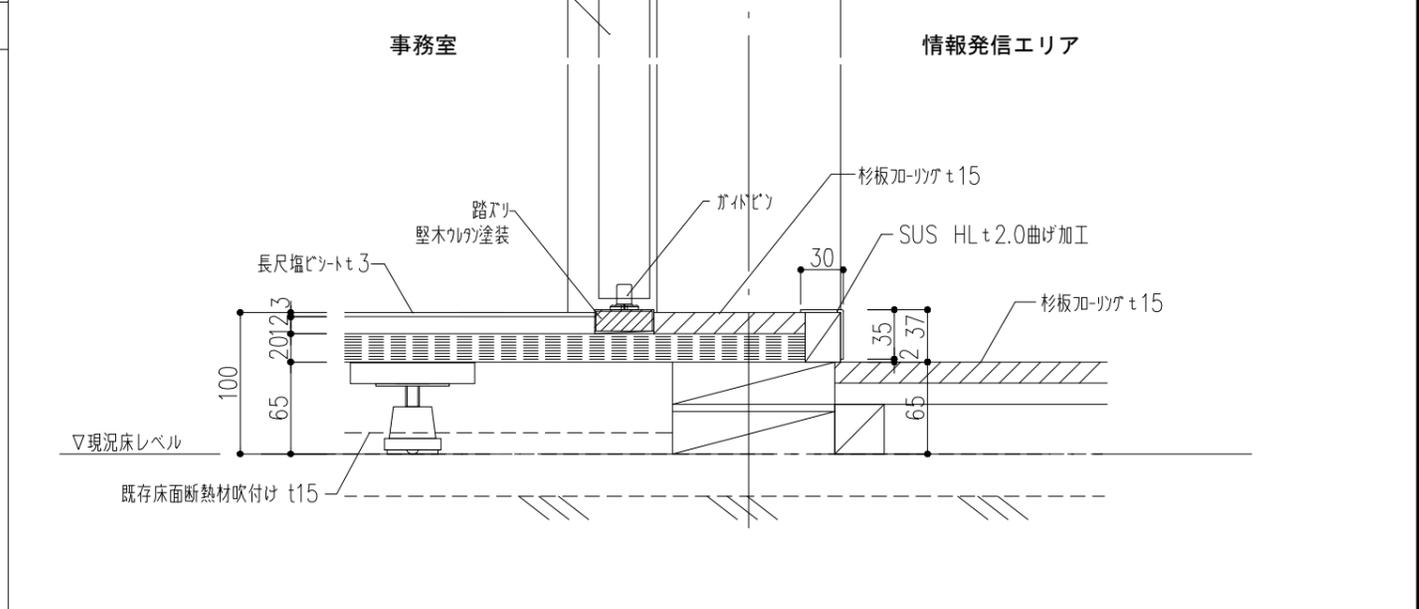
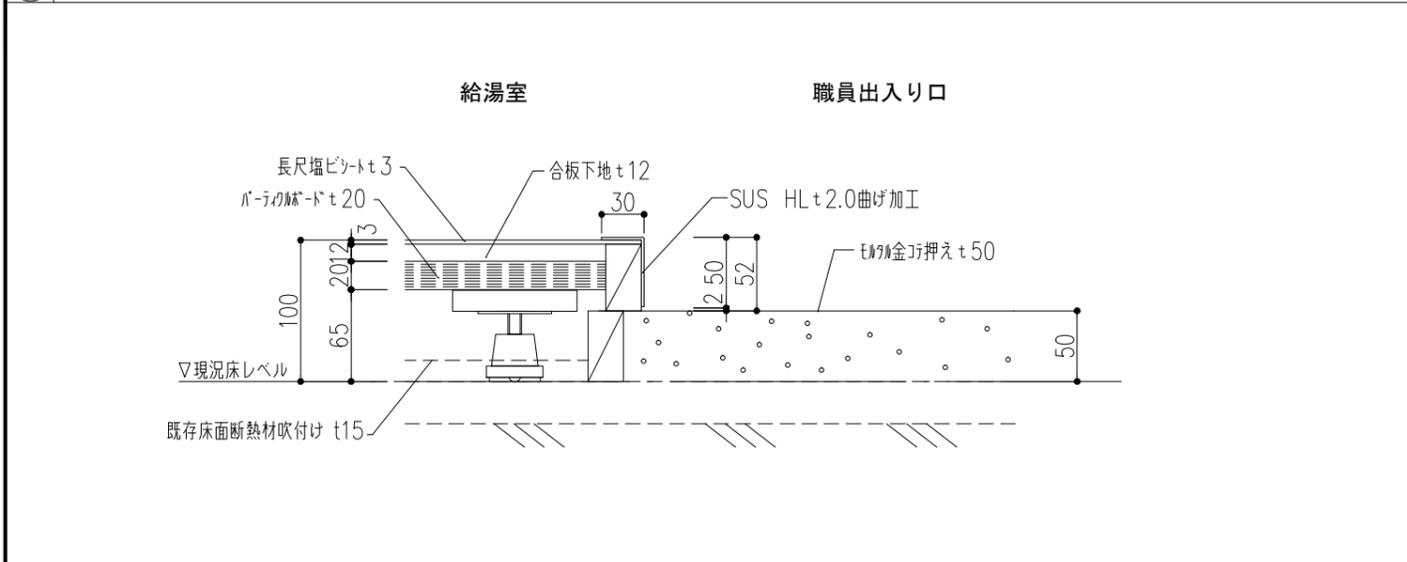
k 情報発信エリア床仕上げ詳細図 1:5



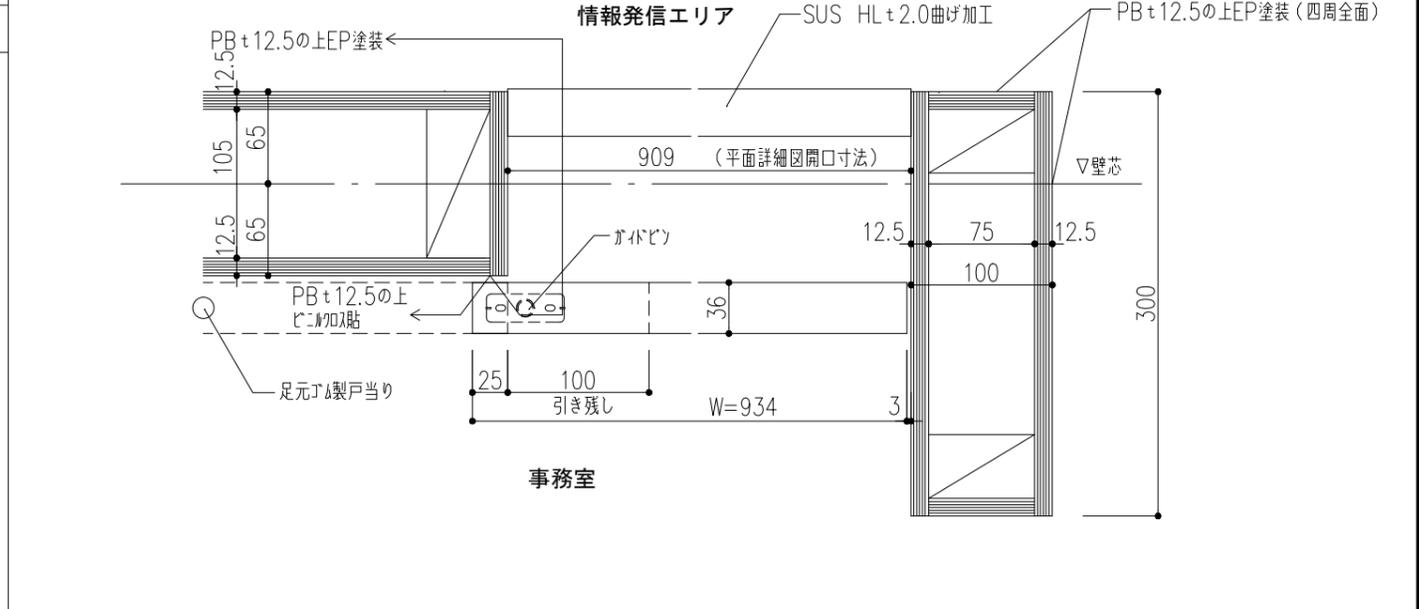
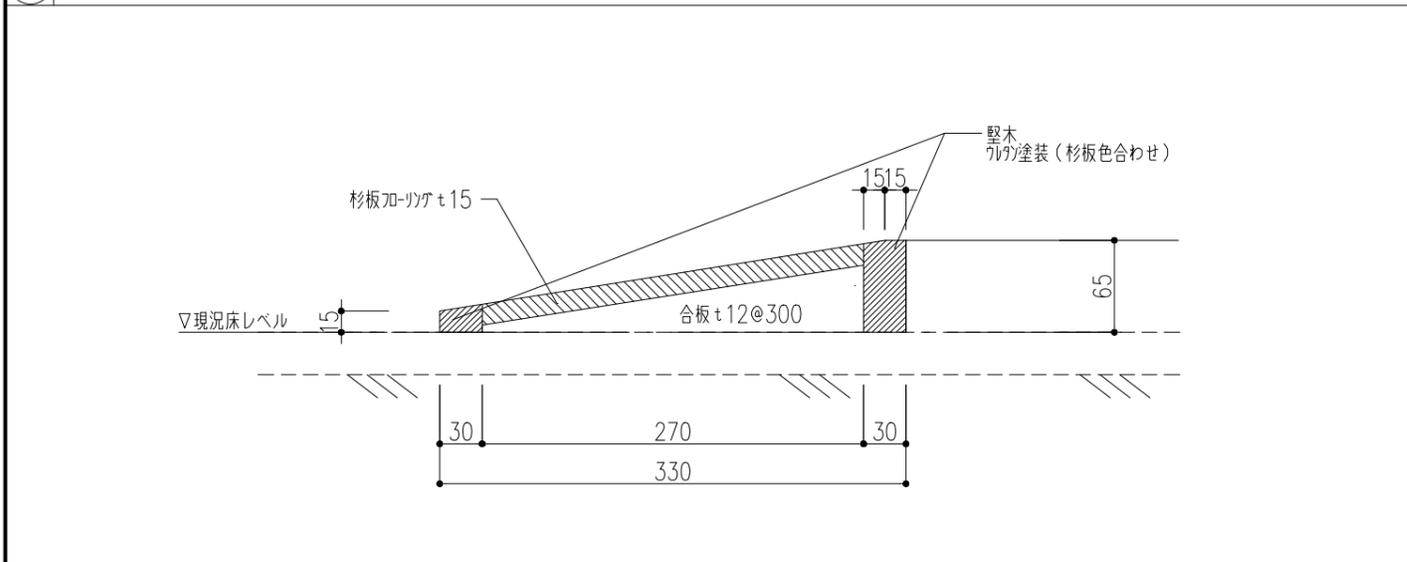
n 事務所入り口 段差・建具詳細図 1:5



l 職員出入り口 段差詳細図 1:5



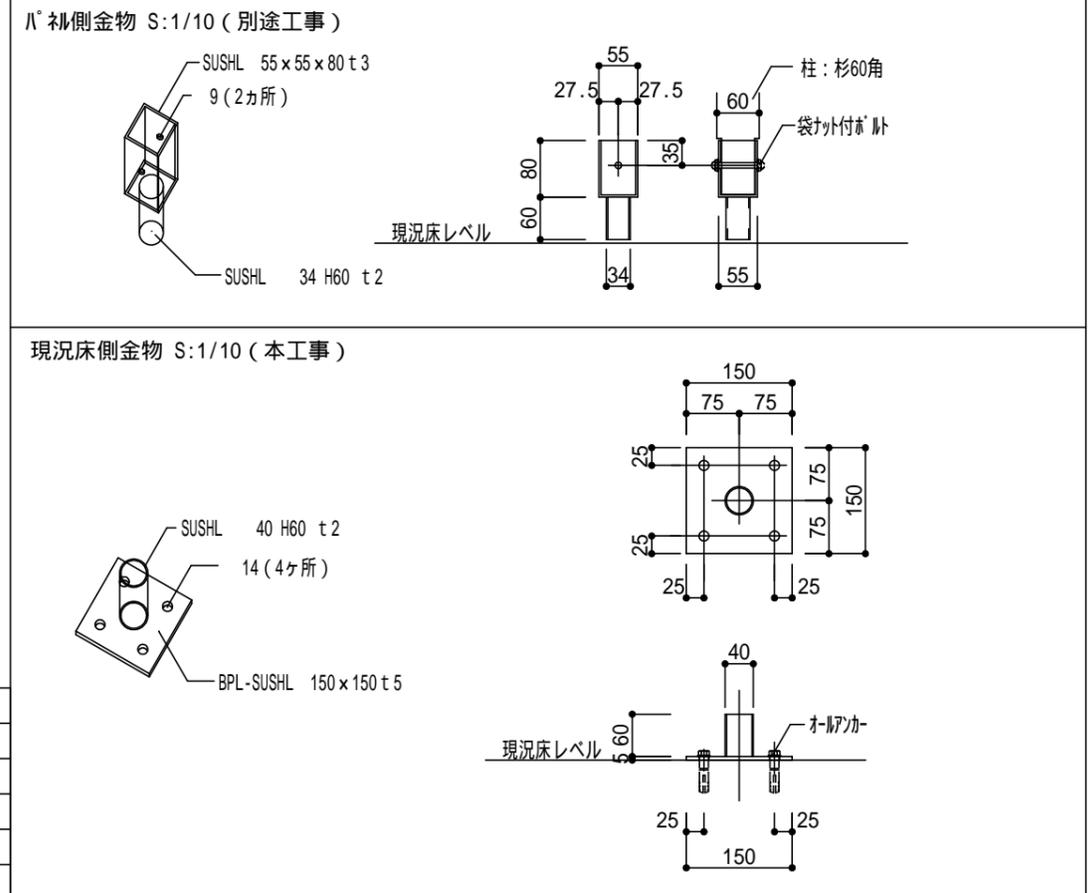
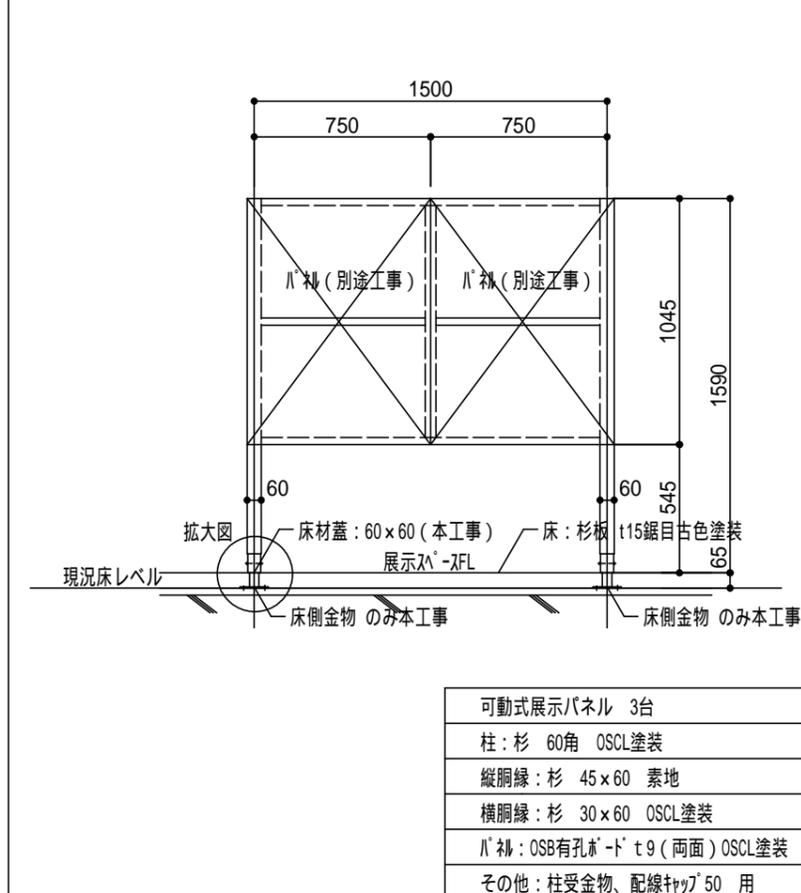
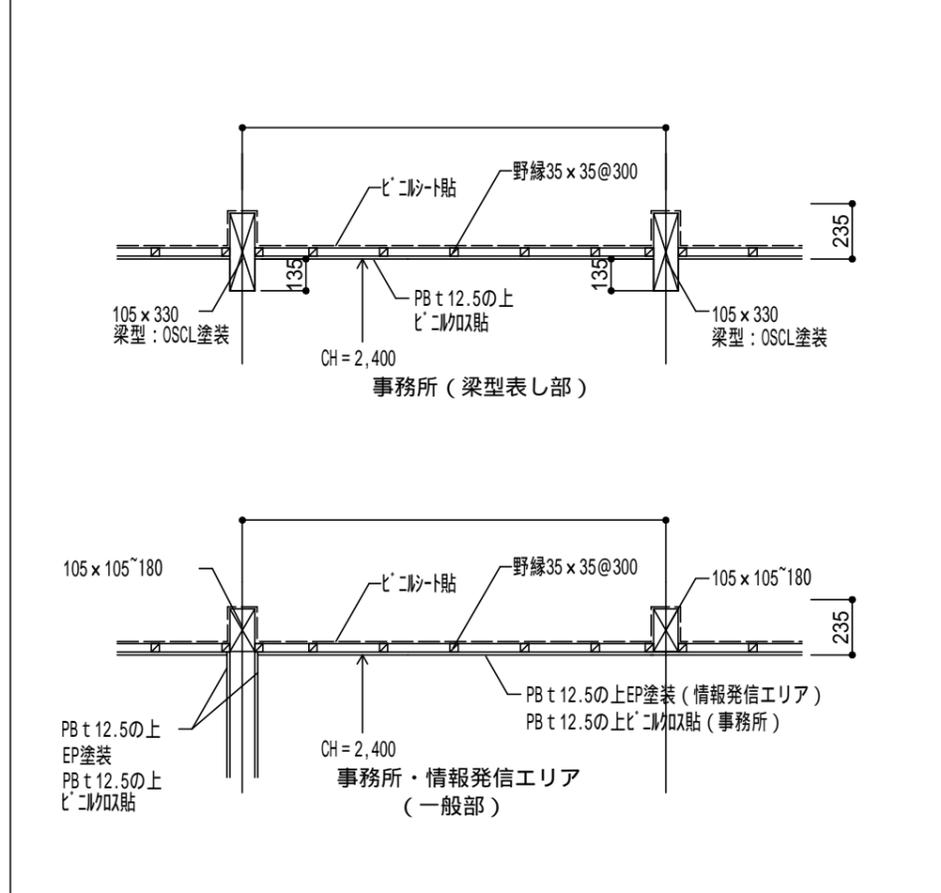
m 木製スロープ詳細図 1:5



○ 天井納まり図 1:30

Ⓟ 展示パネル詳細図 (床側金物のみ本工事) 1:30

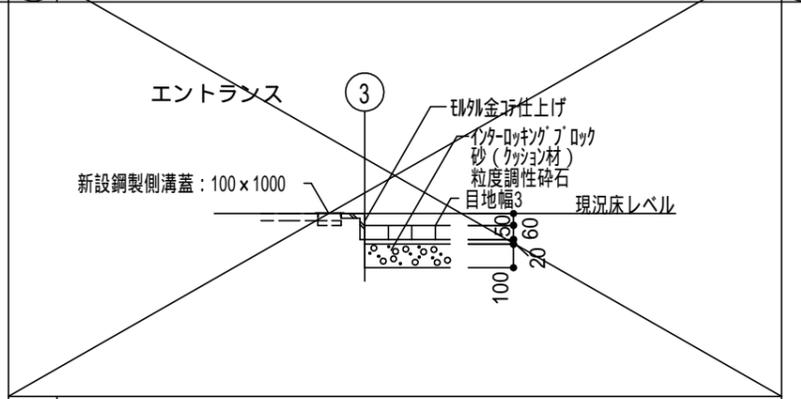
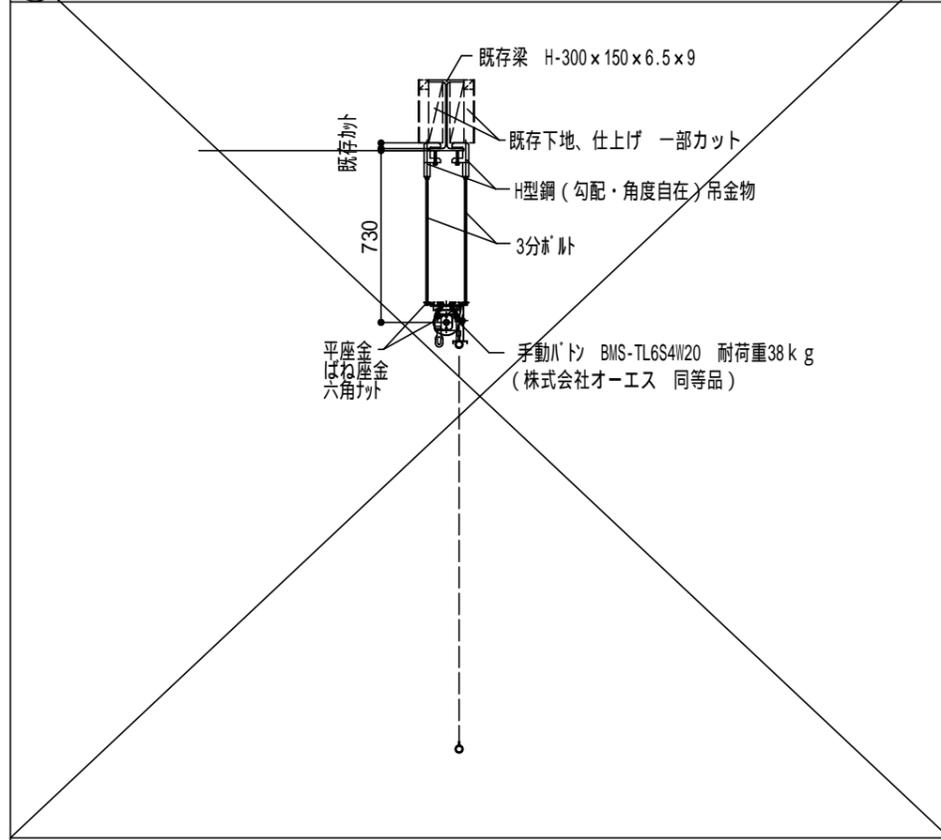
Ⓛ 現況床側金物 S:1/10 (別途工事) 1:30



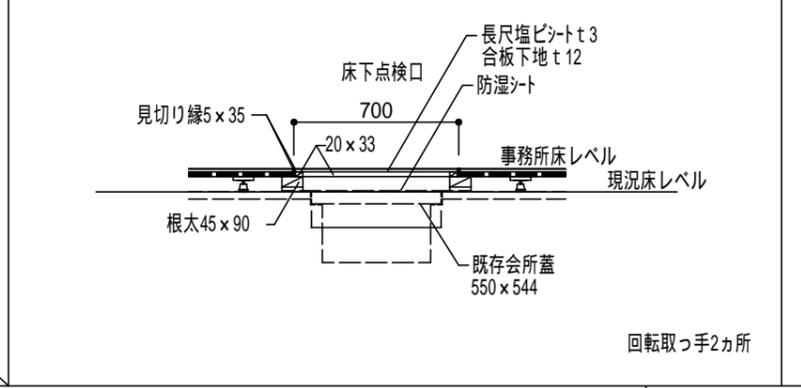
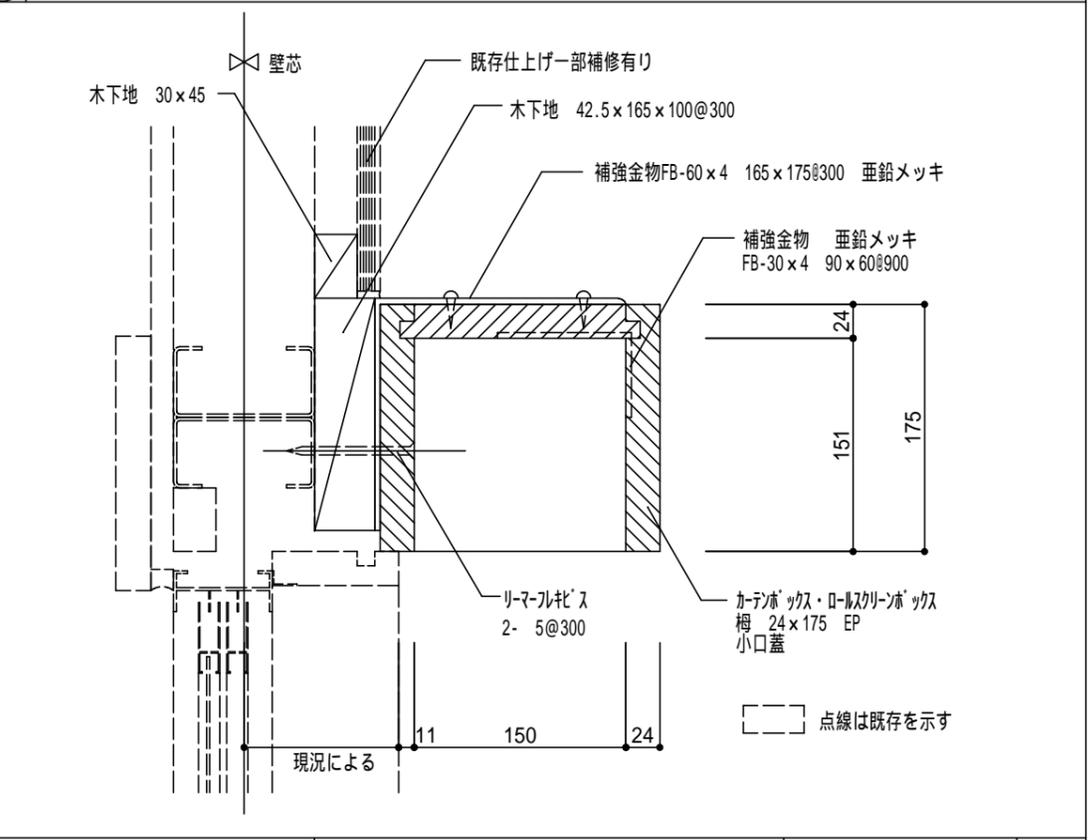
ⓐ バトン受け金物詳細図 1:30

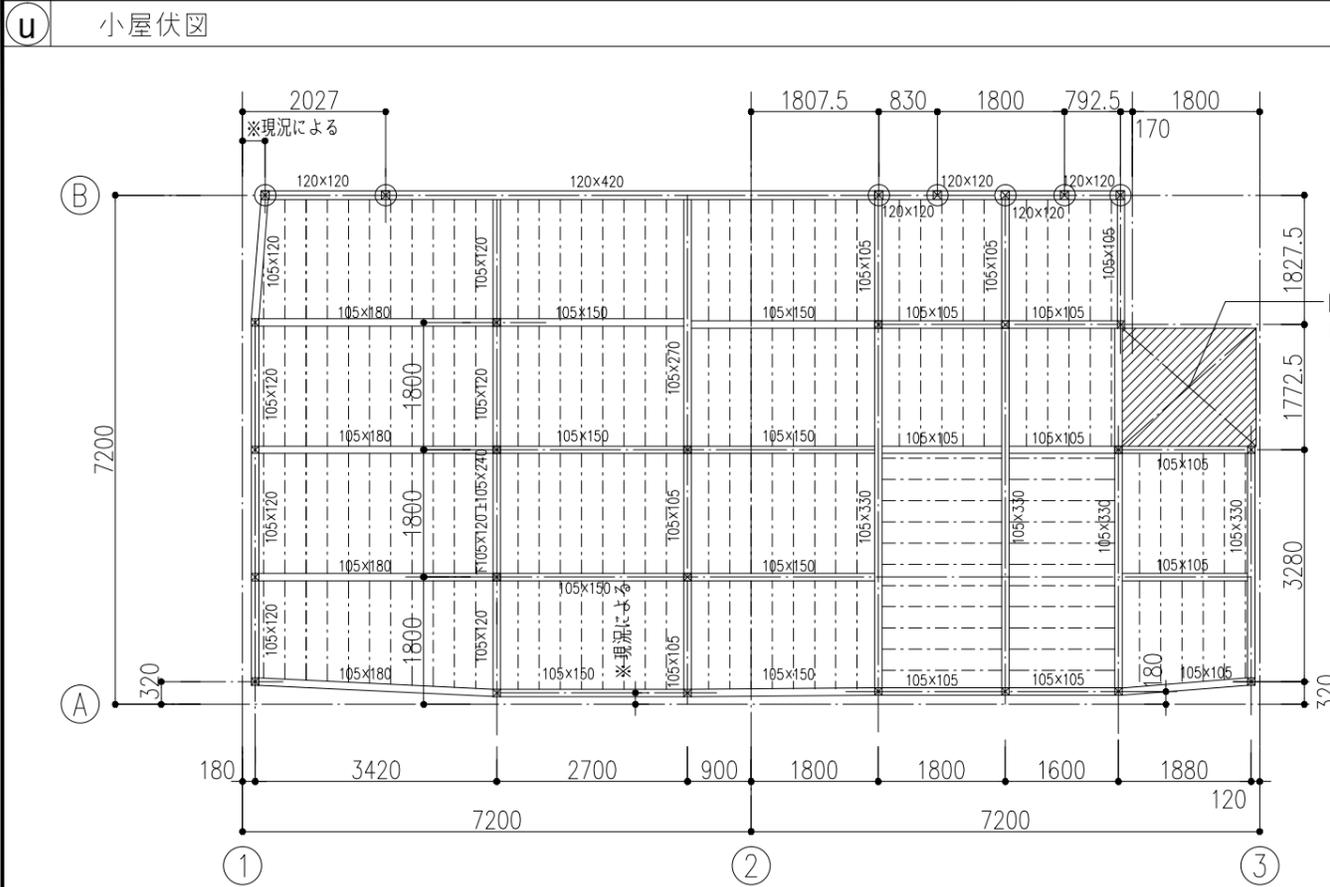
Ⓡ エントランス側溝、インターロッキング詳細図 1:30

Ⓣ 木製カーテン・スクリーンボックス詳細図 1:5



Ⓢ 床下点検口詳細図 1:30

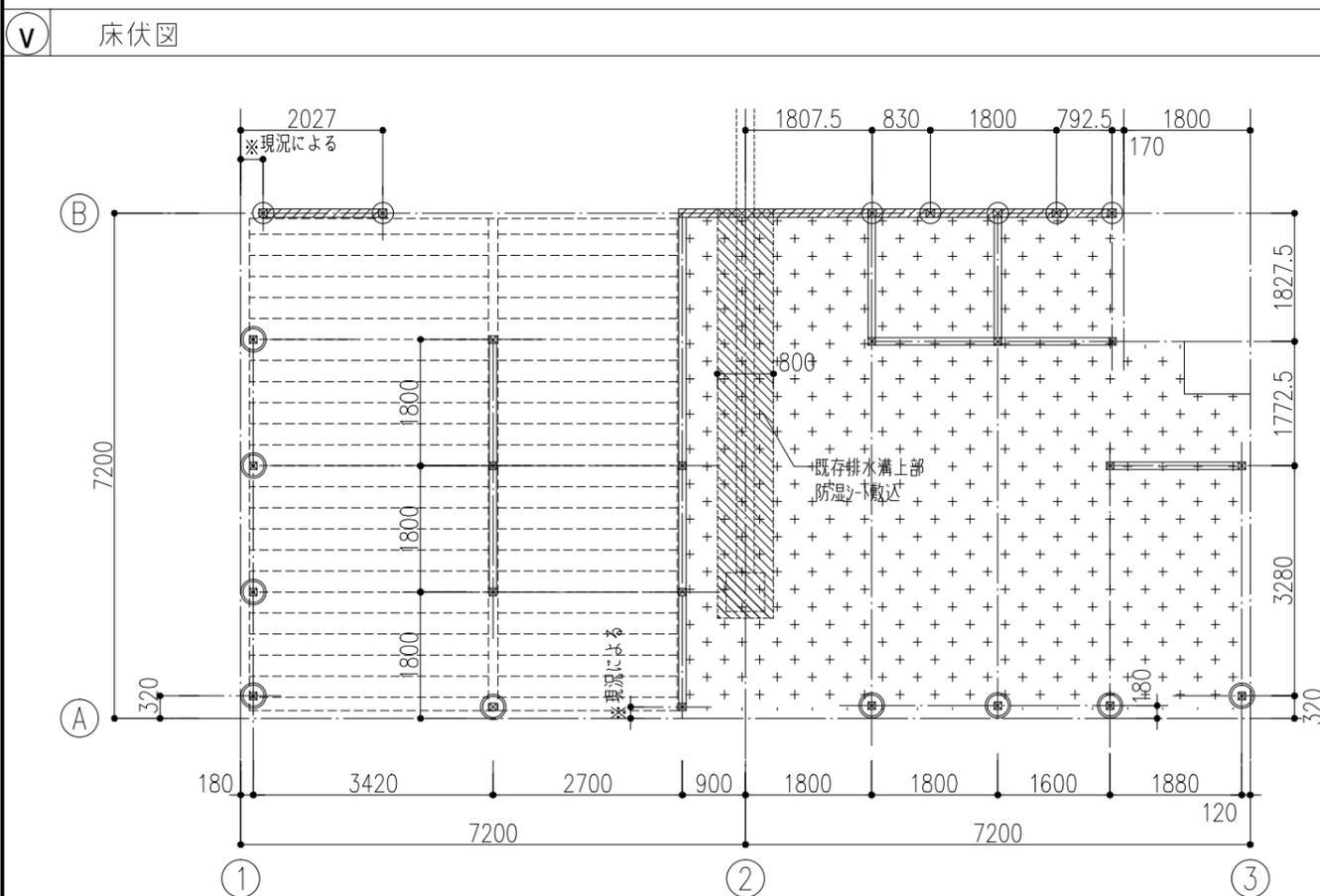
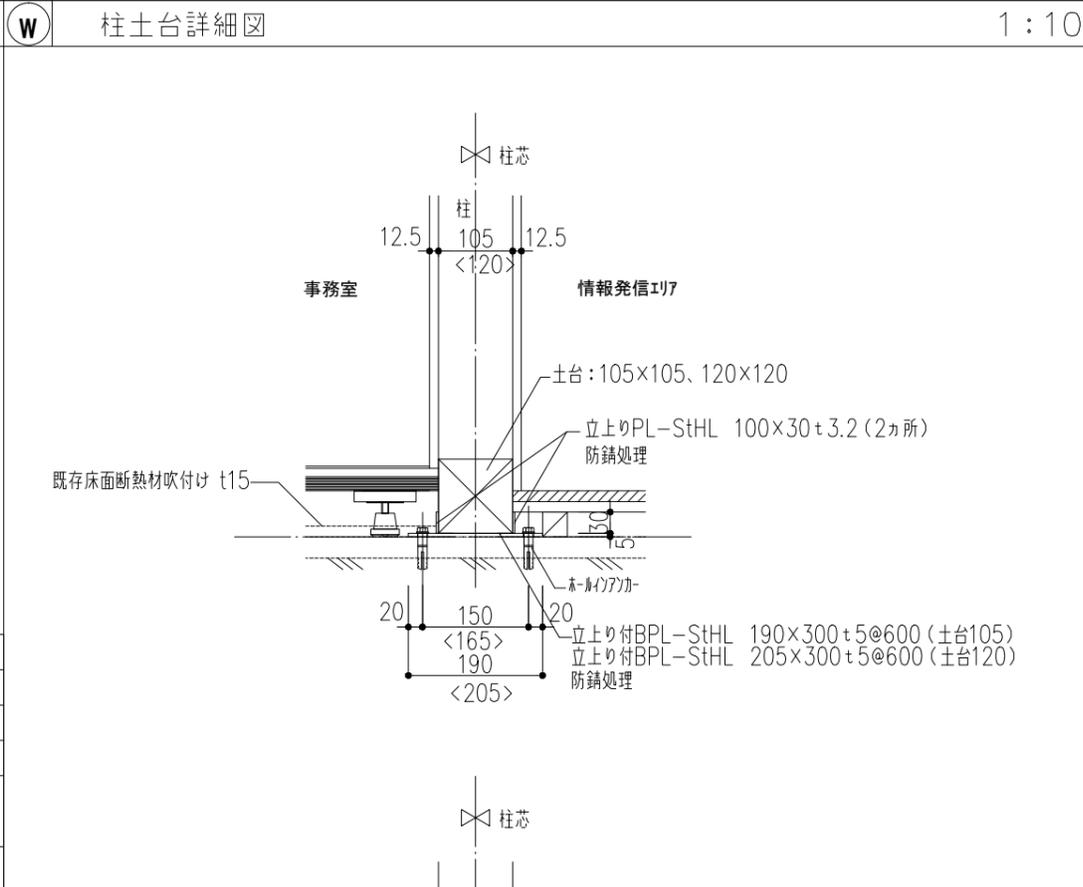




凡例

⊗	柱：杉 120角
⊠	柱：杉 105角
—	梁：杉
---	野縁35×35@300

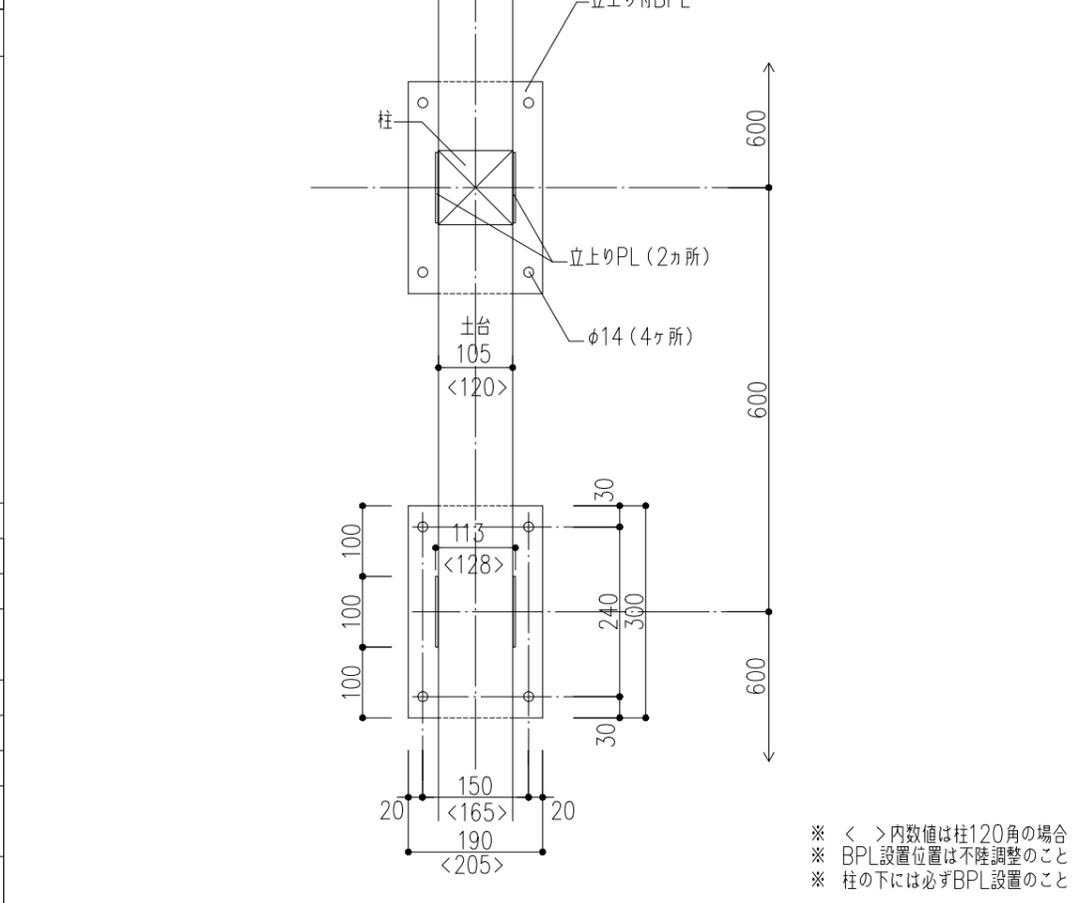
柱・梁の接合については、建告第1460号第2号(ニ)程度にて緊結のこと

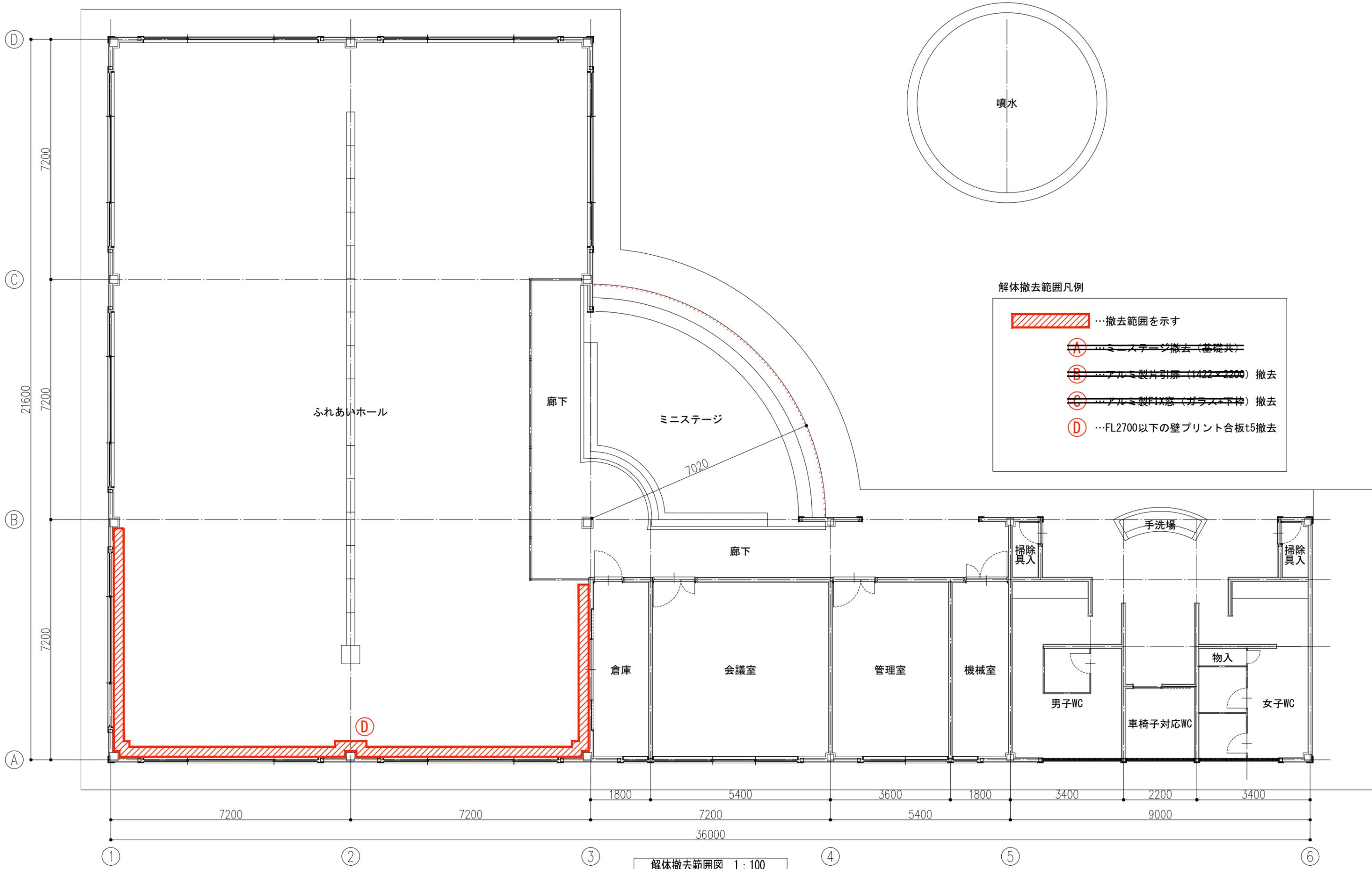


凡例

⊗	柱：杉 120角
⊠	柱：杉 105角
⊗	柱：杉 化粧 105角 St製柱受け金物(防錆処理)
///	土台：120×120
—	土台：105×105
---	ころがし根太35×35@300
+ +	1:1床組4.5本/m <sup>2</sup> 約52m <sup>2</sup> 既存床面断熱材吹付け t15

土台・柱の接合については、建告第1460号第2号(ニ)程度にて緊結のこと





**解体撤去範囲凡例**

- …撤去範囲を示す
- A …ミニステージ撤去（基礎共）
- B …アルミ製片引扉（1422×2200）撤去
- C …アルミ製FIX窓（ガラス+下枠）撤去
- D …FL2700以下の壁プリント合板t5撤去

解体撤去範囲図 1:100